

【ロジックモデル】
 施策項目 I-1-① 激甚化する災害への対応力強化

計画事業
(活動)

行政活動目標
(アウトプット)

補助指標
(中間アウトカム)

社会目標
(最終アウトカム)

目指す姿
(インパクト)

- 1 防災連携体制の充実強化**
- ・職員の災害対応力向上に係る取組の推進
 - ・関係団体と連携した効果的な訓練等の実施
 - ・民間事業者等との協定に基づく災害対応力の強化
 - ・災害時における情報収集体制の強化
 - ・市町村における避難所の運営や生活環境の改善に係る支援
 - ・被災者支援システムの市町村への導入支援(再掲)
 - ・孤立集落対策の推進(再掲)
 - ・千葉県業務継続計画の推進
 - ・市町村業務継続計画の充実・強化の促進
 - ・市町村の受援計画策定支援
 - ・被災者支援体制の充実
 - ・災害派遣医療チーム(DMAT)等の体制強化
 - ・災害拠点病院等の整備
 - ・災害用装備品の整備拡充
 - ・災害に便乗した犯罪への対策

県が行う防災訓練実施数	R8目標	増加を 目指す
	現状	103回

市町村が行う防災訓練実施数	R8目標	増加を 目指す
	現状	266回

災害時応援協定の締結状況	R8目標	増加を 目指す
	現状	371件

災害派遣精神医療チーム(DPAT)の 隊員登録者数	R8目標	240人
	現状	228人

災害派遣福祉チーム(DWAT)の登録 者数	R8目標	461人
	現状	434人

- 2 自助・共助の取組強化**
- ・防災教育の推進
 - ・西部防災センター展示設備の再整備
 - ・災害対策コーディネーターの養成
 - ・自主防災組織の結成・活動促進
 - ・災害時における要配慮者及び避難行動要支援者対策の推進
 - ・生活必需品等の備蓄促進
 - ・災害情報の収集・発信能力の充実
 - ・企業等の事業継続計画(BCP)策定の支援
 - ・防災情報のバリアフリー化の促進

防災研修センターにおける自主防災 組織に係る研修の受講者数	R8目標	増加を 目指す
	現状	1,083人

避難行動要支援者名簿に基づく個 別避難計画の作成市町村数	R8目標	54市町村
	現状	51市町村

- 3 半島性を踏まえた防災対策の推進**
- ・孤立集落対策の推進
 - ・民間事業者等との協定に基づく災害対応力の強化(再掲)
 - ・自主防災組織の結成・活動促進(再掲)
 - ・生活必需品等の備蓄促進(再掲)
 - ・橋りょうの耐震補強(再掲)
 - ・道路のり面の防災対策の推進(再掲)
 - ・無電柱化の推進(再掲)
 - ・災害に強い道路ネットワークの整備(再掲)
 - ・耐震強化岸壁の整備推進(再掲)
 - ・ライフライン関係施設等における耐震化及び停電・浸水・断水対策等の推進(再掲)
 - ・県有施設への再生可能エネルギー導入の推進(再掲)

防災研修センターにおける自主防災 組織に係る研修の受講者数	R8目標	増加を 目指す
	現状	1,083人

耐震補強を完了した橋梁数(累計)	R8目標	230橋
	現状	229橋

自主防災組織による防災訓練の実 施回数	R10目標	2,600回
	計画 策定時	1,729回

○ 令和元年
房総半島台風
(2019年)等の
一連の災害を
踏まえ、県庁
内の危機管理
体制が強化さ
れるとともに、
停電や断水な
どへの対応も
含め、県や市
町村、ライフ
ライン事業者等
の密接な連携
体制が構築さ
れ、地震、台
風、豪雨など
の災害から県
民を守る体制
が確立されて
いる。

○ 令和6年能
登半島地震
(2024年)にお
ける課題を踏
まえ、孤立集
落対策の強化
や災害に強い
道路ネットワ
ークの整備が進
んでいる。

○ 県民一人
ひとりが、防災
に関する正し
い知識を有す
るとともに、地
域住民同士が
助け合い、適
切に行動でき
る体制が整っ
ている。

4 津波避難・液状化対策の推進

- ・津波避難環境整備の促進
- ・災害対応への津波浸水予測システムの活用
- ・市町村の津波避難対策に対する支援
- ・液状化・流動化現象の調査研究の実施
- ・津波避難・液状化対策に係る周知

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進計画の策定市町村数	R8目標	27市町村
	現状	18市町村

5 消防・救急救助体制の充実強化

- ・消防広域化の取組に対する支援
- ・消防防災施設・設備の整備による消防防災力の強化
- ・被用者・女性・若者など幅広い住民の消防団への加入促進
- ・消防団活動の理解促進に係る広報
- ・消防団員の技術力の維持・向上の推進

県内大学生等を対象とした一日入団体験実施回数	R8目標	1回
	現状	1回

「消防防災活動に関する出前講座」実施回数	R8目標	5回
	現状	5回

6 石油コンビナート防災対策の推進

- ・石油コンビナート等防災訓練の実施
- ・千葉県石油コンビナート等防災計画の見直し
- ・高圧ガスに係る訓練実施等による安全対策の推進

石油コンビナート等防災訓練の実施数	R8目標	3回
	現状	3回

石油コンビナート事業所等への立入調査件数	R8目標	15件
	現状	16件

高圧ガス保安法に基づく認定検査実施者への立入検査件数	R8目標	13回
	現状	13回

7 防災DXの推進

- ・AIなどを活用した災害情報の収集・分析
- ・SNSなどによる防災情報の発信力強化
- ・災害対応への津波浸水予測システムの活用(再掲)
- ・被災者支援システムの市町村への導入支援
- ・災害危険性や被災状況の迅速な検知と情報発信

「じぶん防災」閲覧数	R8目標	1,102,500回
	現状	551,991回

被災者支援システムに係る研修・訓練・説明会実施数	R8目標	3回
	現状	12回

3日以上の備蓄をしている県民の割合	R10目標	食料品65.0% 飲料水70.0%
	計画策定時	食料品48.9% 飲料水54.1%

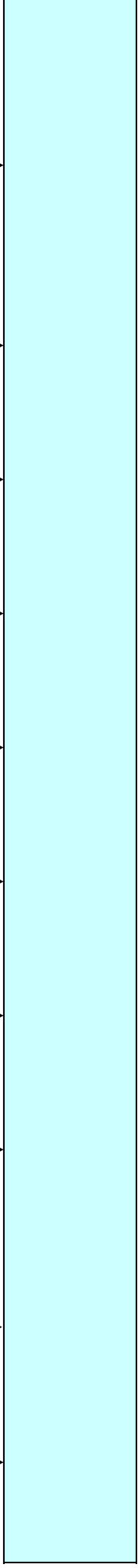
被災者支援システムの導入市町村数	R10目標	54市町村
	計画策定時	4市町村

8 平時と災害時を一体として捉えた防災対策の推進

- ・フェーズフリーの考え方の普及啓発
- ・生活必需品等の備蓄促進(再掲)
- ・市町村の地域防災計画などへの助言
- ・民間事業者等との協定に基づく災害対応力の強化(再掲)
- ・県有施設への再生可能エネルギー導入の推進(再掲)
- ・庁舎・学校・文化施設の耐震化等の推進(再掲)

災害時応援協定の締結状況	R8目標	増加を目指す
	現状	371件

新たに耐震化に着手した県有建物の棟数	R8目標	長寿命化計画に基づく整備を進める
	現状	1棟



【ロジックモデル】
 施策項目 I-1-② 災害に強いまちづくりの推進

計画事業
(活動)

行政活動目標
(アウトプット)

補助指標
(中間アウトカム)

社会目標
(最終アウトカム)

目指す姿
(インパクト)

1 災害に強い社会資本の整備

- ・災害に強い河川の整備
- ・災害に強い道路ネットワークの整備
- ・橋りょうの耐震補強
- ・道路のり面の防災対策の推進
- ・無電柱化の推進
- ・道の駅等の機能強化
- ・耐震強化岸壁の整備推進
- ・都市公園の整備推進(再掲)
- ・土地区画整理事業・市街地再開発事業の促進(再掲)
- ・河川・海岸施設の整備及び耐震化の推進
- ・防災関係情報の提供
- ・流域治水の推進
- ・土砂災害対策の推進
- ・ライフライン関係施設等における耐震化及び停電・浸水・断水対策等の推進
- ・鉄道施設の耐震化の推進
- ・地籍調査事業の推進
- ・インフラ分野のDXの推進(再掲)
- ・市町村の事前復興まちづくりに対する支援
- ・盛土等に伴う災害の防止の強化

一宮川流域の治水安全度の向上 【一宮川第三調節池の整備】 (遮水工整備)	R8目標	960m
	現状	210m

耐震補強を完了した橋梁数(累計)	R8目標	230橋
	現状	229橋

電線共同溝整備道路の指定地区数	R8目標	4地区
	現状	3地区

耐震強化岸壁の整備数	R8目標	8ノース
	現状	7ノース

整備中の県立都市公園の整備面積 (累計)	R8目標	38.6ha
	現状	37.3ha

市町村のまちづくりに対する支援の ための講演会、研修会等の開催回 数	R8目標	9回
	現状	9回

市町村及び組合施行等の土地区画 整理事業の整備面積	R8目標	1,508ha
	現状	1,486ha

市町村及び組合施行等の市街地再 開発事業の地区数	R8目標	4地区
	現状	4地区

流域下水道施設の耐震化率	R8目標	52%
	現状	48%

地籍調査の着手又は再開市町村数	R8目標	2市町村
	現状	0市町村

管路の耐震化率	R8目標	30.5%
	現状	28.8%

管路の耐震化延長	R8目標	0.69km
	現状	0.60km

工業用水道の浄・給水場等における 非常用自家発電設備、燃料用タンク の整備(累計)	R8目標	19施設
	現状	18施設

無電柱化の事業着手した延長	R10目標	83km
	計画 策定時	56km

地籍調査面積	R10目標	1,147km ²
	計画 策定時	929km ²

○ 河川・海岸施設の整備や橋りょう・港湾施設等の耐震化が計画的に行われ、災害に強い社会資本整備が進んでいる。

○ 建築物の耐震診断・耐震改修が進むとともに、洪水等に対しても、住まい方の工夫が徹底され、災害に強いまちづくりが図られている。

2 建築物・宅地の災害対策の推進

- ・被災宅地危険度判定士・調整員の養成と判定体制の整備
- ・被災建築物応急危険度判定士の養成と判定体制の整備
- ・耐震診断・耐震改修技術者の養成
- ・庁舎・学校・文化施設の耐震化等の推進

被災宅地危険度判定士の登録者数	R8目標	2,045人
	現状	2,045人

既存建築物耐震診断・改修講習会の年間受講者数	R8目標	100人
	現状	91人

被災建築物応急危険度判定士(登録者数)	R8目標	4,000人
	現状	5,379人

新たに耐震化に着手した県有建物の棟数	R8目標	長寿命化計画に基づく整備を進める
	現状	1棟

私立学校校舎等の耐震化	R8目標	向上を目指す
	現状	92.1%

防災対策に着手した防災重点農業用ため池の箇所数	R8目標	20箇所
	現状	17箇所

海岸保全施設整備延長(累計)	R8目標	2,094.8m
	現状	1,994.8m

3 農林水産業における災害対策等の推進

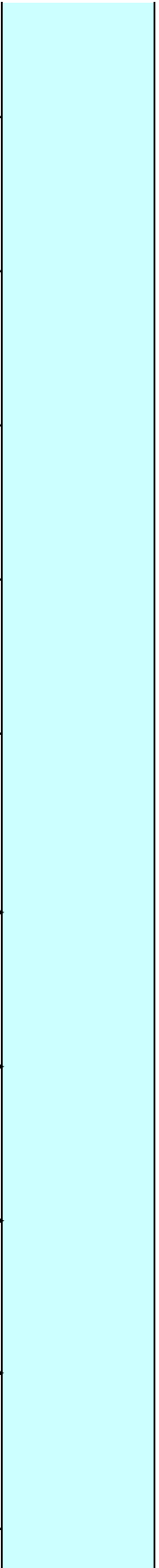
- ・農山漁村の防災・減災対策の推進
- ・災害に備える経営の推進
- ・災害に強い森林づくりの推進
- ・家畜伝染病に対する防疫体制の強化
- ・植物防疫対策の推進

道路・電線等の重要インフラ施設周辺などの森林整備面積(累計)	R8目標	253ha
	現状	188ha

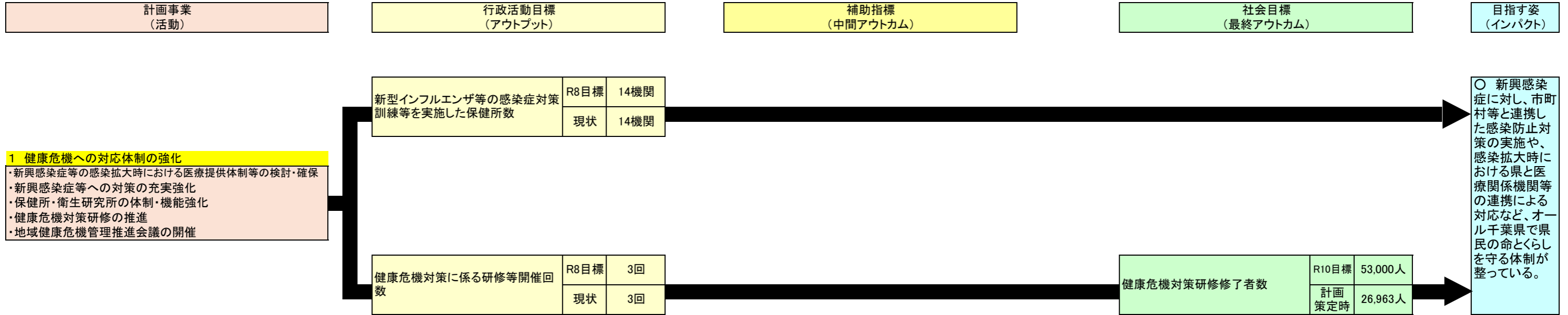
海岸県有保安林の整備面積(累計)	R8目標	265.0ha
	現状	239.6ha

家きん飼養農場における巡回指導の実施率	R8目標	100%
	現状	100%

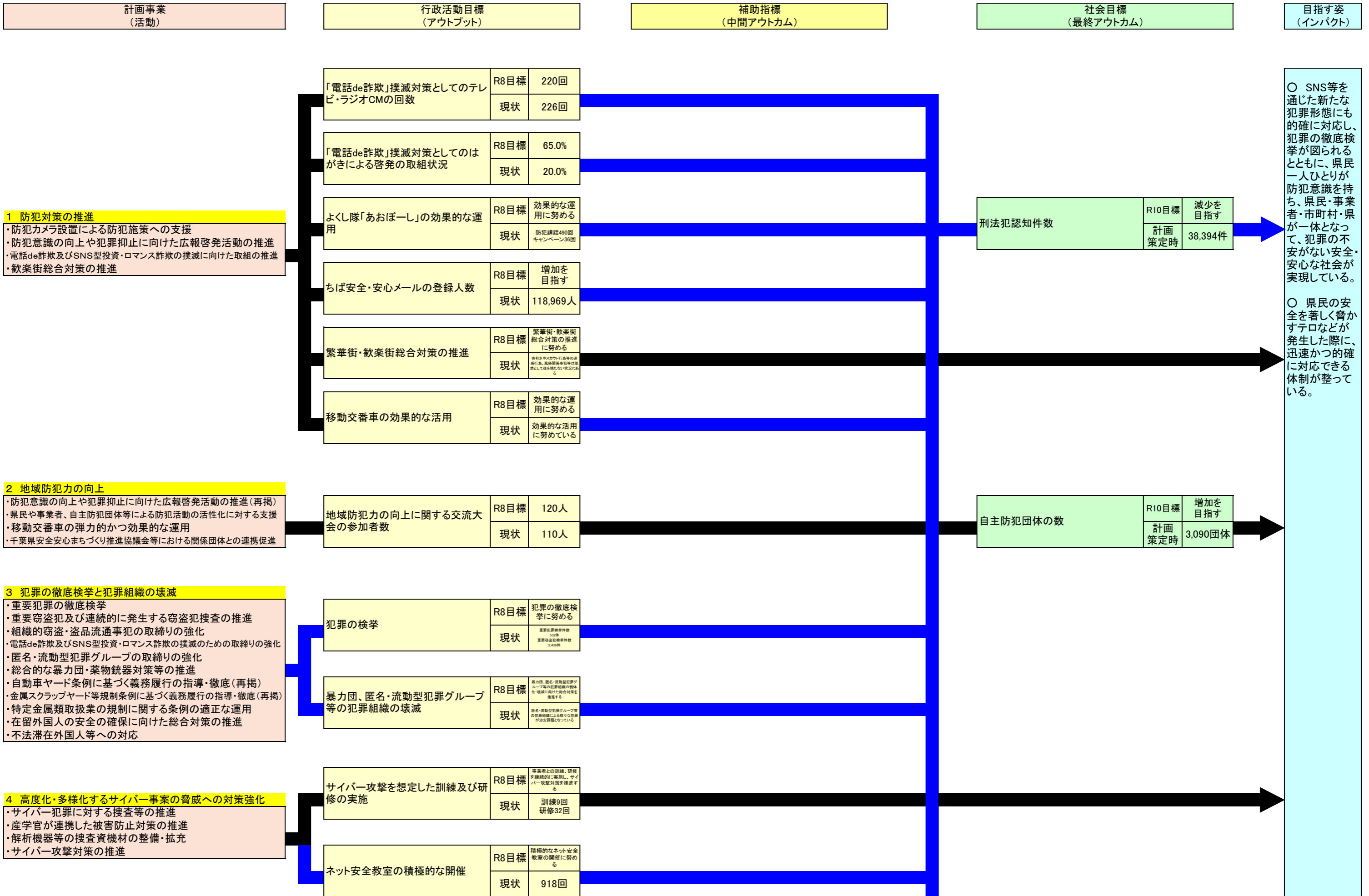
家きん飼養農場における飼養衛生管理基準主要7項目の遵守率	R8目標	97%
	現状	94.6%



【ロジックモデル】
 施策項目 I-1-③ 新興感染症等健康危機への対応力強化



【ロジックモデル】
 施策項目 I-2-① 新たな犯罪形態にも対応する犯罪の起こりにくい社会づくりと被害者等支援の充実



5 テロの未然防止

- ・不審情報の収集・分析と違法行為の取締りの徹底
- ・「テロ対策ネットワーク・CHIBA」の活動の推進
- ・関係機関と連携した水際対策の推進
- ・テロを想定した訓練の実施
- ・空港等の重要施設に対する警戒警備の実施

「テロ対策ネットワーク・CHIBA」の活動の推進と、官民一体となったテロ対処訓練の実施	R8目標	テロ、ゲリラの未然防止に努める
	現状	訓練：65回

6 警察基盤の整備

- ・警察活動を支える人的基盤の強化
- ・通訳・翻訳機能の強化
- ・各種教養や実戦に即した訓練の推進
- ・通信指令機能の強化
- ・警察捜査のための装備資機材等の整備
- ・警察署・交番・駐在所等の計画的な整備
- ・警察情報通信基盤の計画的な整備強化
- ・警察業務のDXの推進

警察署、交番、駐在所の計画的な整備	R8目標	計画的な整備に努める
	現状	維持設計4交番・2駐在所 建築工事1警察署・5交番・5駐在所

警察活動を支える人的基盤の強化	R8目標	警察活動を支える人的基盤の強化に努める
	現状	警察官 10,887人 警察官以外の職員 1,226人 非常勤職員 434人

各種教養や実戦に即した訓練の推進	R8目標	多様かつ広範囲な警察業務に対応するため、各種教養や実戦に即した訓練を継続して推進する
	現状	多様かつ広範囲な警察業務に対応するため、各種教養や実戦に即した訓練を推進した

7 DV・ストーカー防止と被害者支援の充実

- ・DVを許さない社会に向けた啓発・教育の推進
- ・安全で安心できる相談・一時保護体制の充実
- ・こどもの安全確保と支援
- ・DV被害者支援のための体制強化
- ・DV被害者の自立に向けた支援
- ・市町村におけるDV対策の促進
- ・DV・ストーカー事案等への迅速かつ的確な対応
- ・DV・ストーカー被害者等の保護対策の推進

携帯用緊急通報装置の貸出人数	R8目標	被害者等に適時適切に貸出し、保護対策を推進する
	現状	171人

8 犯罪被害者等の支援の充実

- ・犯罪被害者等に対する相談体制・支援の充実
- ・国・市町村・民間支援団体等の関係機関と連携した犯罪被害者等への支援
- ・性犯罪・性暴力被害者に対するワンストップ支援体制の充実
- ・犯罪被害者等支援に従事する者の人材育成
- ・市町村・民間支援団体に対する支援の充実
- ・犯罪被害者等に対する県民・事業者の理解の促進

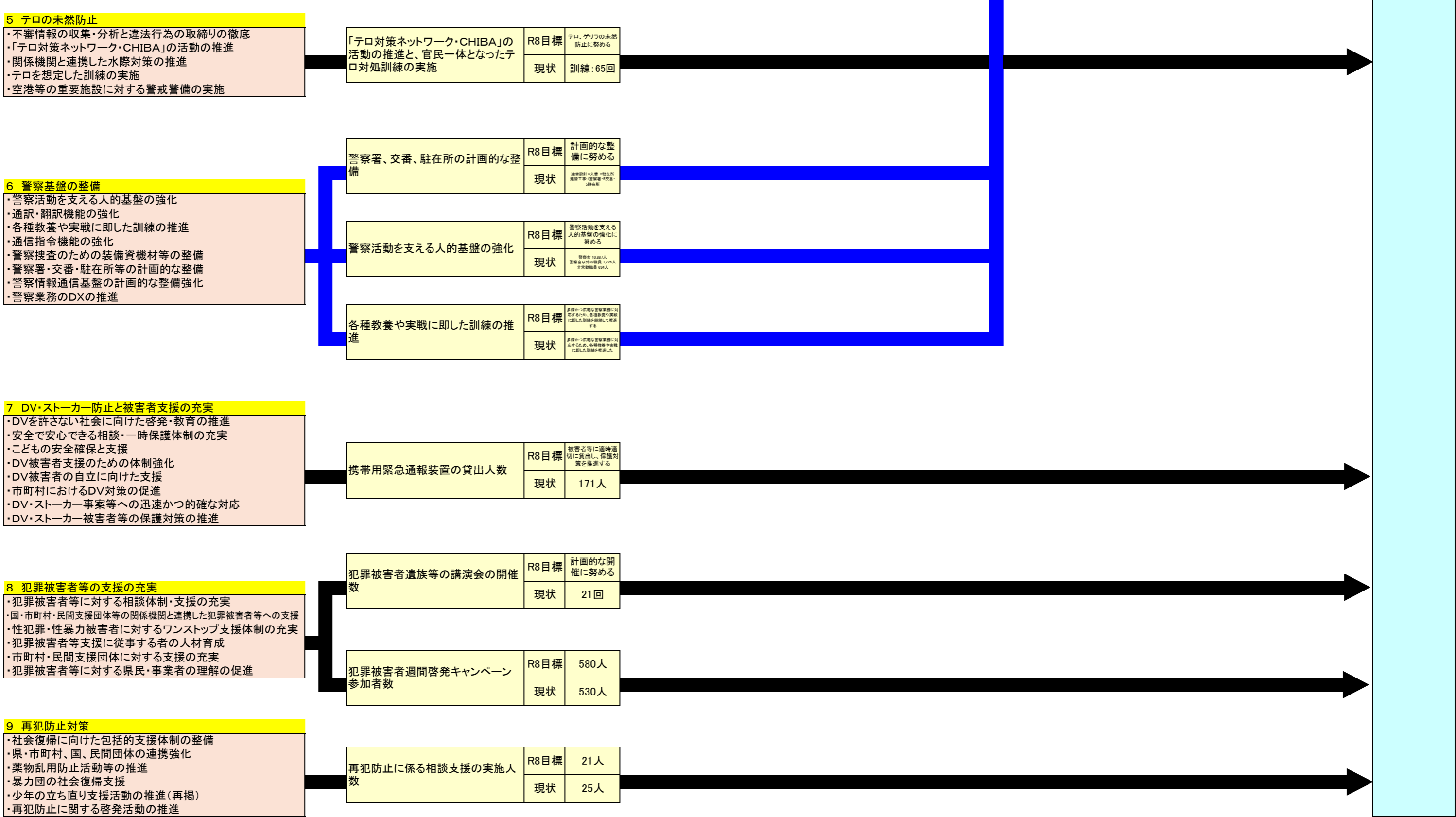
犯罪被害者遺族等の講演会の開催数	R8目標	計画的な開催に努める
	現状	21回

犯罪被害者週間啓発キャンペーン参加者数	R8目標	580人
	現状	530人

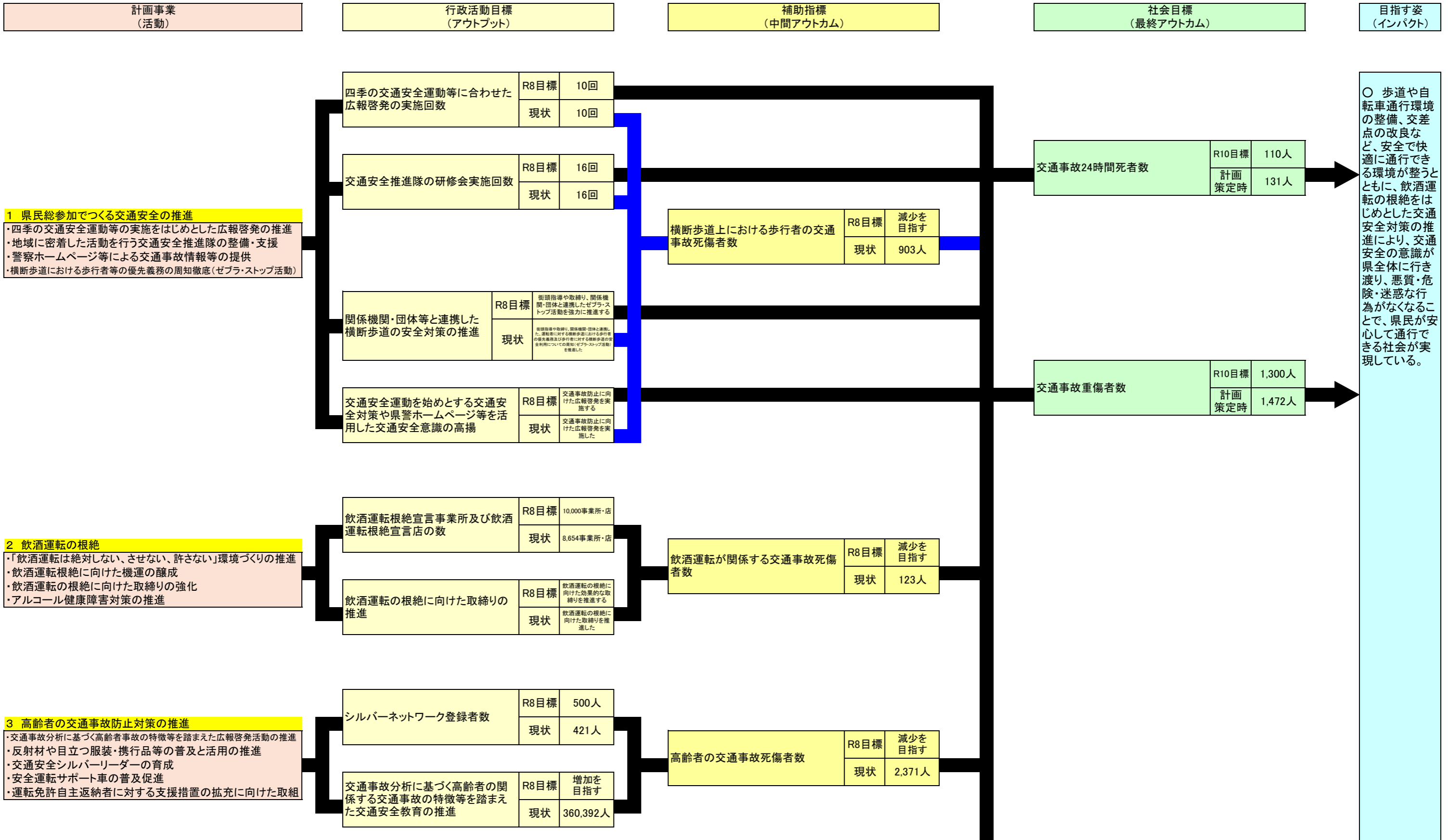
9 再犯防止対策

- ・社会復帰に向けた包括的支援体制の整備
- ・県・市町村、国、民間団体の連携強化
- ・薬物乱用防止活動等の推進
- ・暴力団の社会復帰支援
- ・少年の立ち直り支援活動の推進(再掲)
- ・再犯防止に関する啓発活動の推進

再犯防止に係る相談支援の実施人数	R8目標	21人
	現状	25人



【ロジックモデル】
 施策項目 I-2-2 「交通安全県ちば」の確立



4 自転車その他小型モビリティの安全利用の推進

- ・ヘルメット着用の普及促進
- ・年齢層に応じた自転車交通安全教育の推進
- ・自転車の安全利用に向けた広報啓発活動の推進
- ・自転車保険への加入義務化の周知
- ・自転車通行環境の整備推進
- ・悪質・危険な自転車利用者に対する交通指導取締りの推進
- ・小型モビリティの交通ルールの周知と交通指導取締りの推進

スクエアード・ストレイト自転車交通安全教室の実施回数	R8目標	14回
	現状	13回

高齢者向け出前講座の実施回数	R8目標	80回
	現状	74回

関係機関・団体等と連携した、自転車利用者のルールの徹底とマナーの向上を図るための効果的な自転車対策の推進	R8目標	関係機関・団体等と連携し、自転車利用者に向けたルールの徹底とマナーの向上を図るための対策を推進する
	現状	関係機関・団体等と連携し、自転車利用者に対し、ルールの徹底とマナーの向上を推進した

自転車に関係する交通事故死傷者数	R8目標	減少を目指す
	現状	2,825人

5 交通安全教育の充実

- ・年齢層に応じた交通安全教育の推進
- ・地域や事業所等における交通安全教育の推進
- ・警察公式SNSを活用した交通安全教育の推進
- ・安全運転管理者等による運転者管理の徹底
- ・幼児教育指導者を対象とした交通安全教育の実施
- ・外国人を対象とした交通安全教育の推進

交通安全教育推進員の派遣回数	R8目標	55回
	現状	49回

幼児交通安全教育セミナーの参加人数	R8目標	160人
	現状	160人

交通安全教育の効果的な実施	R8目標	効果的な交通安全教育を実施する
	現状	8,020回

6 交通安全環境の整備

- ・交通事故多発地点における共同現地診断の実施
- ・交通事故調査委員会の開催
- ・交通安全施設の整備
- ・歩道整備と交差点の改良等による通学路の安全確保
- ・広域的な幹線道路ネットワーク等の整備促進(再掲)
- ・道路施設の維持管理と長寿命化(再掲)

交通事故多発地点における共同現地診断の実施回数	R8目標	38回
	現状	38回

交通の安全と円滑に資する交通安全施設の整備	R8目標	交通の安全と円滑に資する交通安全施設整備を推進する
	現状	歩道等の整備等における交通安全施設整備を推進する

歩道等の整備延長(累計)	R8目標	1,813.8km
	現状	1,812.8km

7 悪質性・危険性・迷惑性の高い違反に対する交通指導取締りの強化

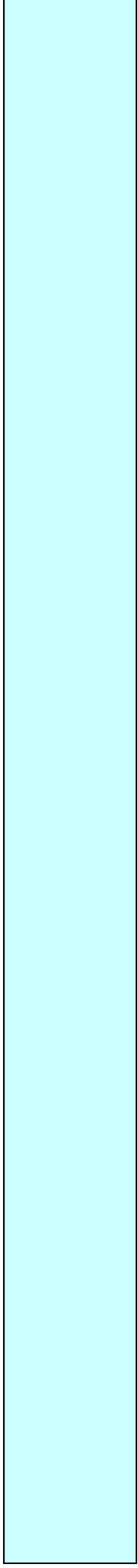
- ・交通事故発生状況等の分析に基づく効果的な交通指導取締りの推進
- ・違法駐車対策の推進
- ・交通取締用装備資機材の整備・拡充
- ・飲酒運転の根絶に向けた取締りの強化(再掲)

交通事故抑止に資する効果的な交通指導取締りによる交通の安全と秩序の維持	R8目標	交通事故発生状況等の分析、悪質かつ迷惑性の高い違反等に対する効果的な交通指導取締りによる交通の安全と秩序の維持を推進する
	現状	交通事故発生状況等の分析等を踏まえた交通指導取締りを推進した

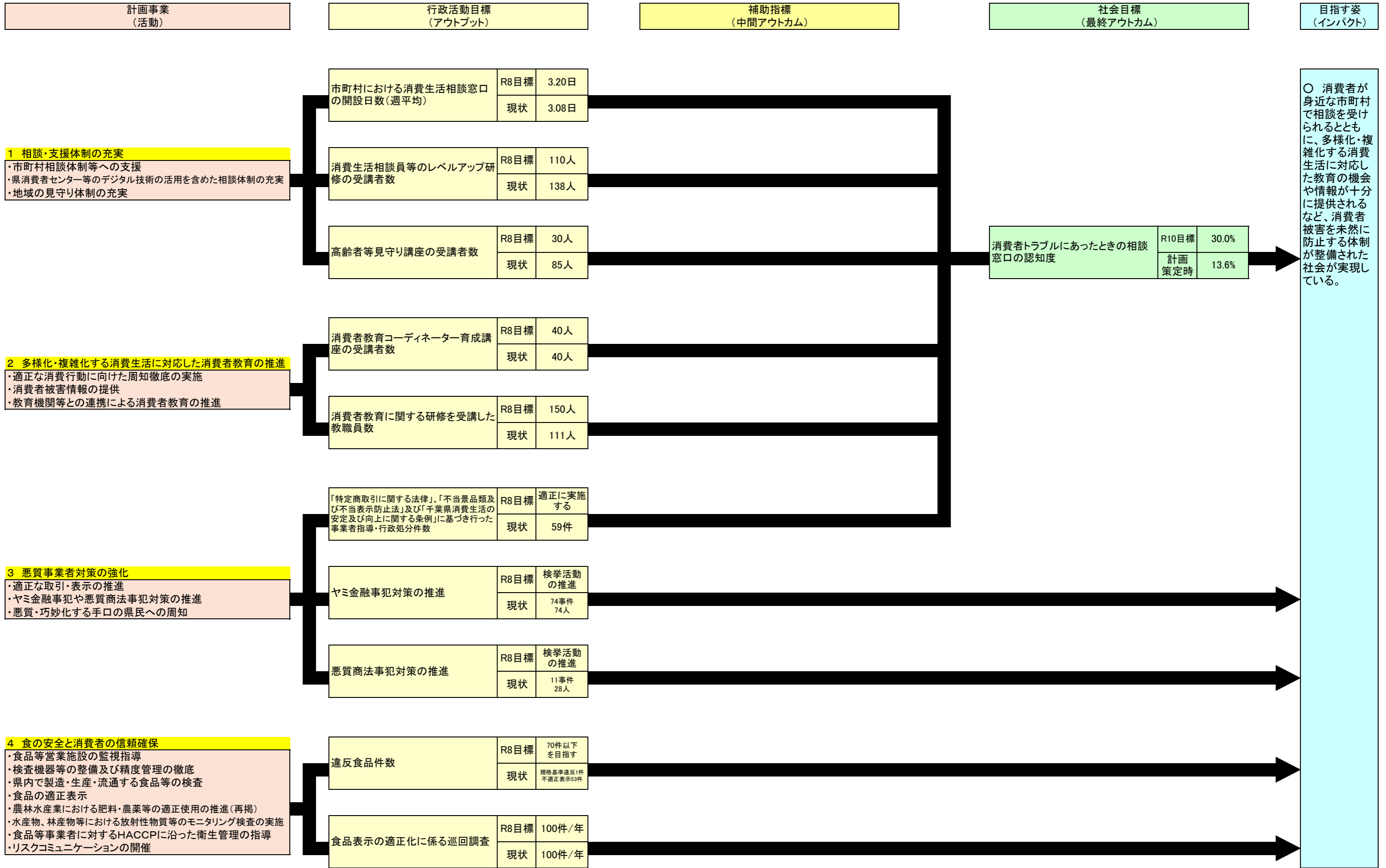
8 適正かつ緻密な交通事故事件捜査の推進

- ・危険運転致死傷罪等の立件を視野に入れた適正かつ緻密な捜査の推進
- ・ひき逃げ事件や交通特殊事件等に対する徹底捜査
- ・緻密かつ科学的な交通鑑識活動の推進
- ・交通事故事件捜査用資機材の充実

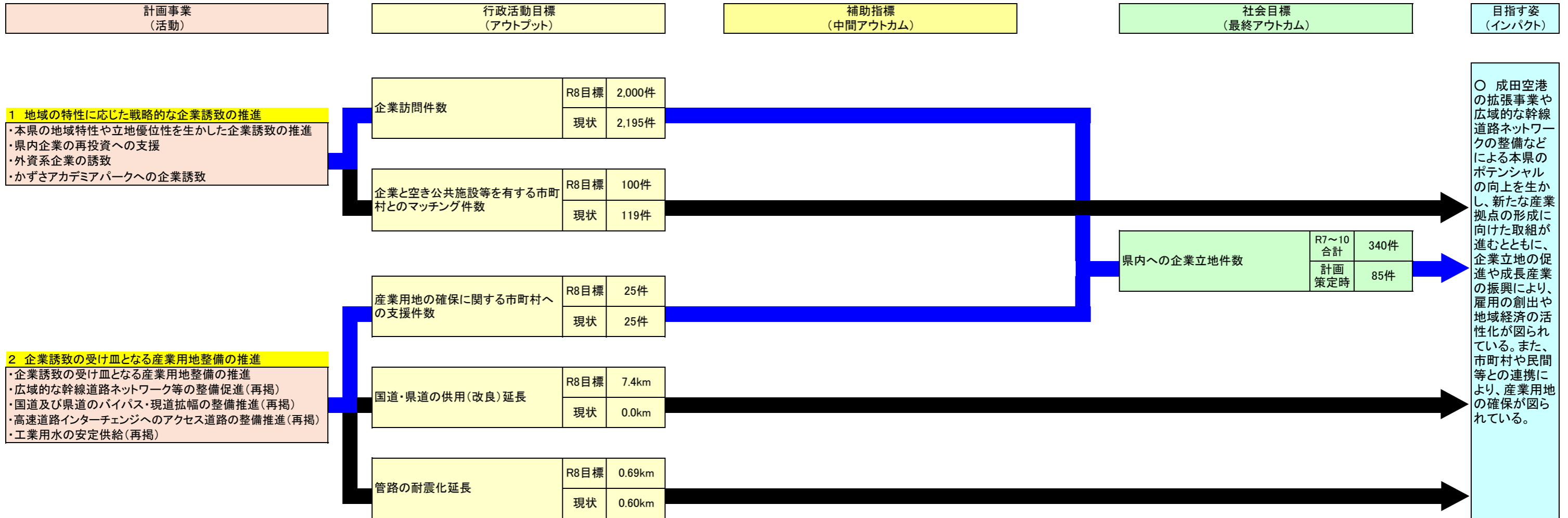
適正かつ緻密な交通事故事件捜査の推進	R8目標	科学的捜査等の客観的証拠に基づき適正かつ緻密な捜査を推進する
	現状	危険運転致死傷罪等の重大事故の立件に努めた



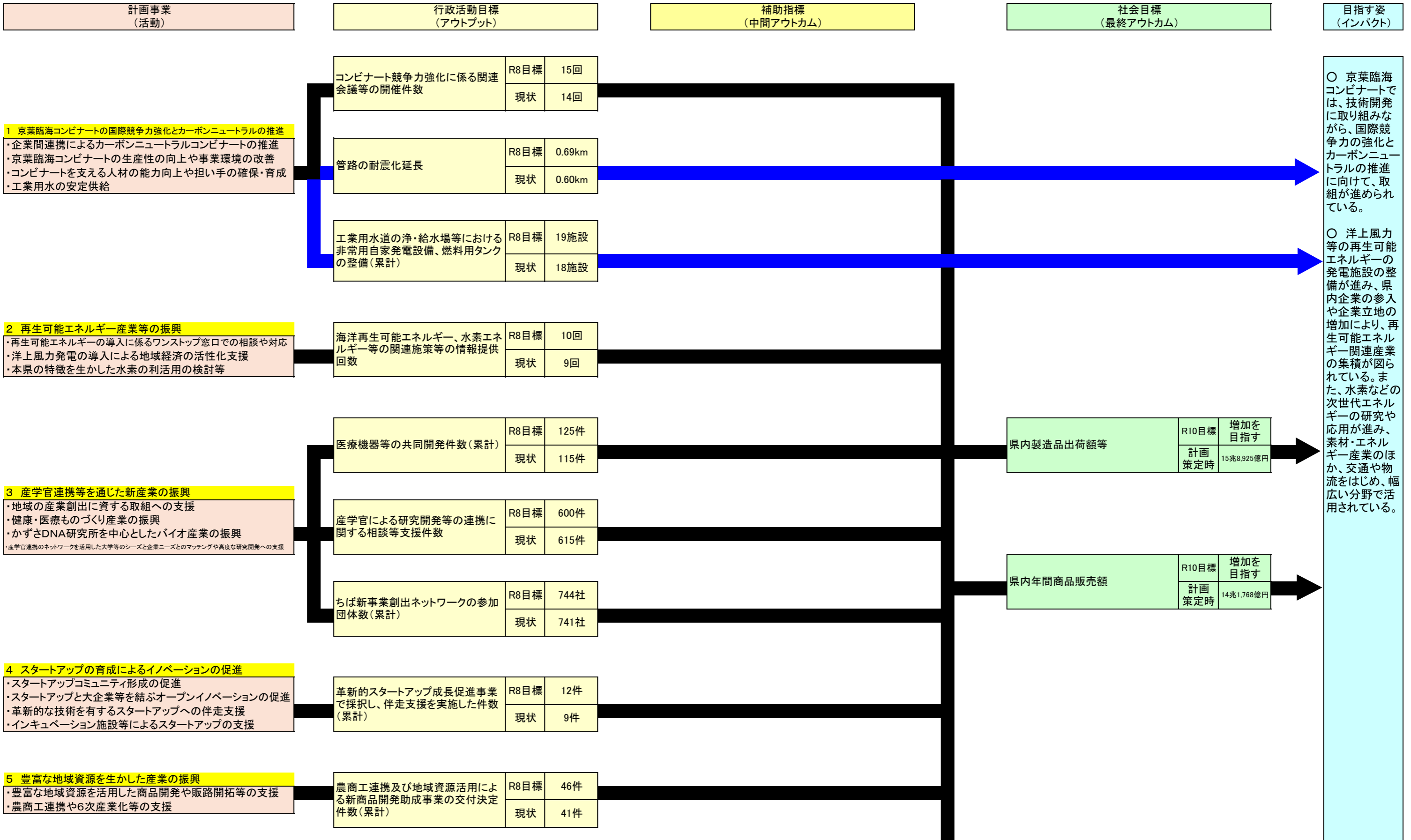
【ロジックモデル】
 施策項目 I-2-③ 安全・安心な消費生活の確保



【ロジックモデル】
 施策項目Ⅱ-1-① 新たな産業・地域づくりと企業誘致の推進



【ロジックモデル】
 施策項目Ⅱ-1-② 県経済を担う産業の振興と育成



6 産業を支える技術の高度化

- ・産業支援技術研究所等による中小企業等への技術支援
- ・知的財産の保護及び活用支援
- ・雇用に結び付く効果的な職業訓練の実施
- ・地域の企業等のニーズに応じたものづくり若手技術者の育成(再掲)
- ・海外製品規格への対応の支援

県産業支援技術研究所等による中小企業等への技術相談等支援件数	R8目標	2,400件
	現状	2,422件

7 県内企業の海外取引・輸出の促進

- ・中小企業の海外販路開拓支援
- ・輸出入や海外進出の実務に関する個別相談への対応
- ・貿易実務や海外の市場動向等を解説するセミナーの開催
- ・海外に向けたPRと商談機会の創出
- ・国際ビジネスの専門家による実務支援

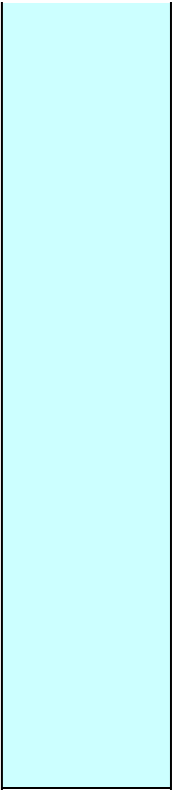
海外販路拡大に係る支援件数	R8目標	19件
	現状	16件

海外ビジネスセミナーの参加人数	R8目標	700人
	現状	784人

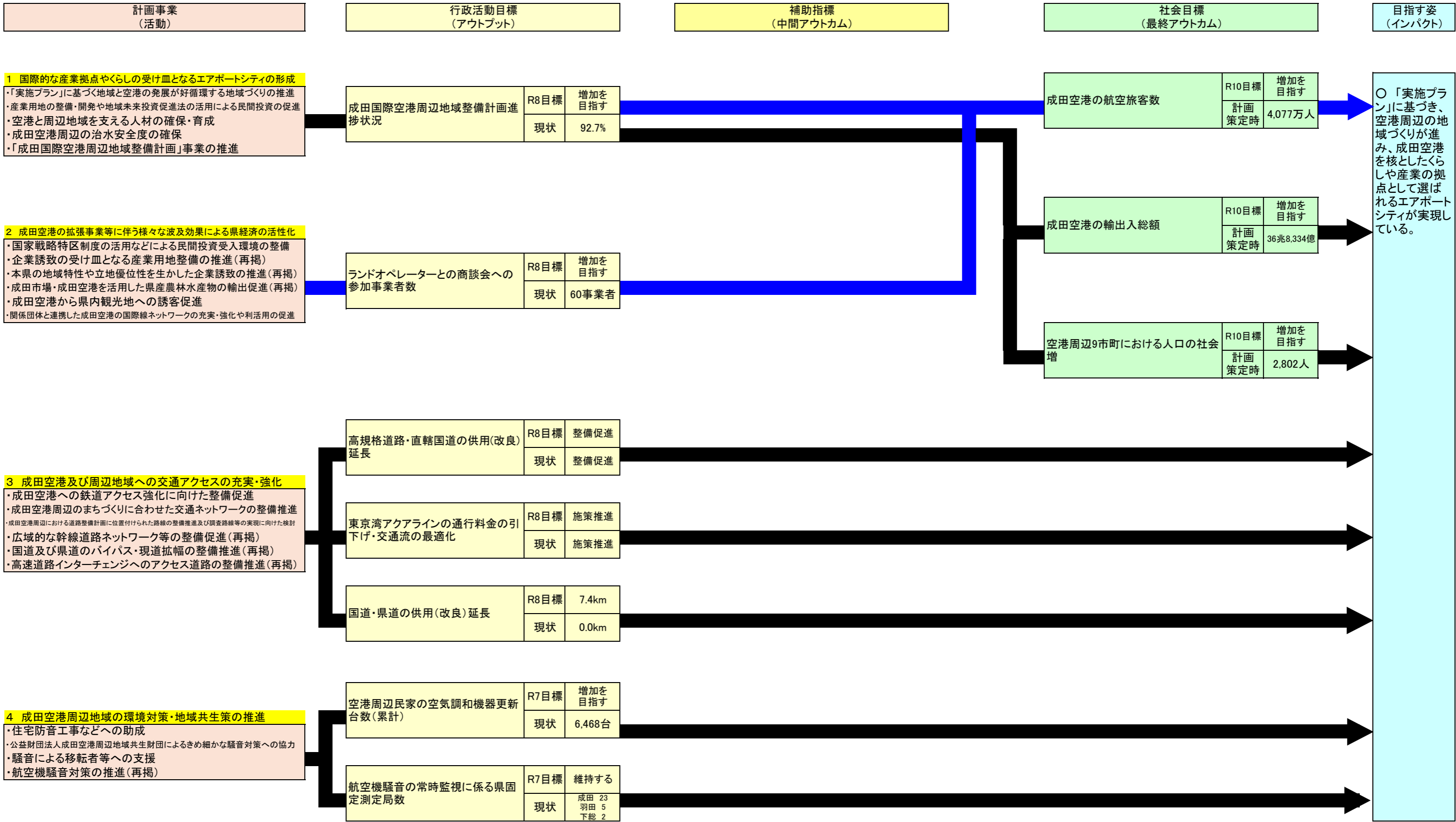
8 MICEの誘致促進と幕張メッセの競争力強化

- ・公益財団法人ちば国際コンベンションビューローや市町村、MICE関係事業者など関係機関と連携したMICEの誘致・開催支援
- ・幕張メッセの機能向上と展示会・イベント等の積極誘致
- ・幕張メッセ関連企業懇談会や幕張新都心まちづくり協議会等における関係企業・団体との連携促進

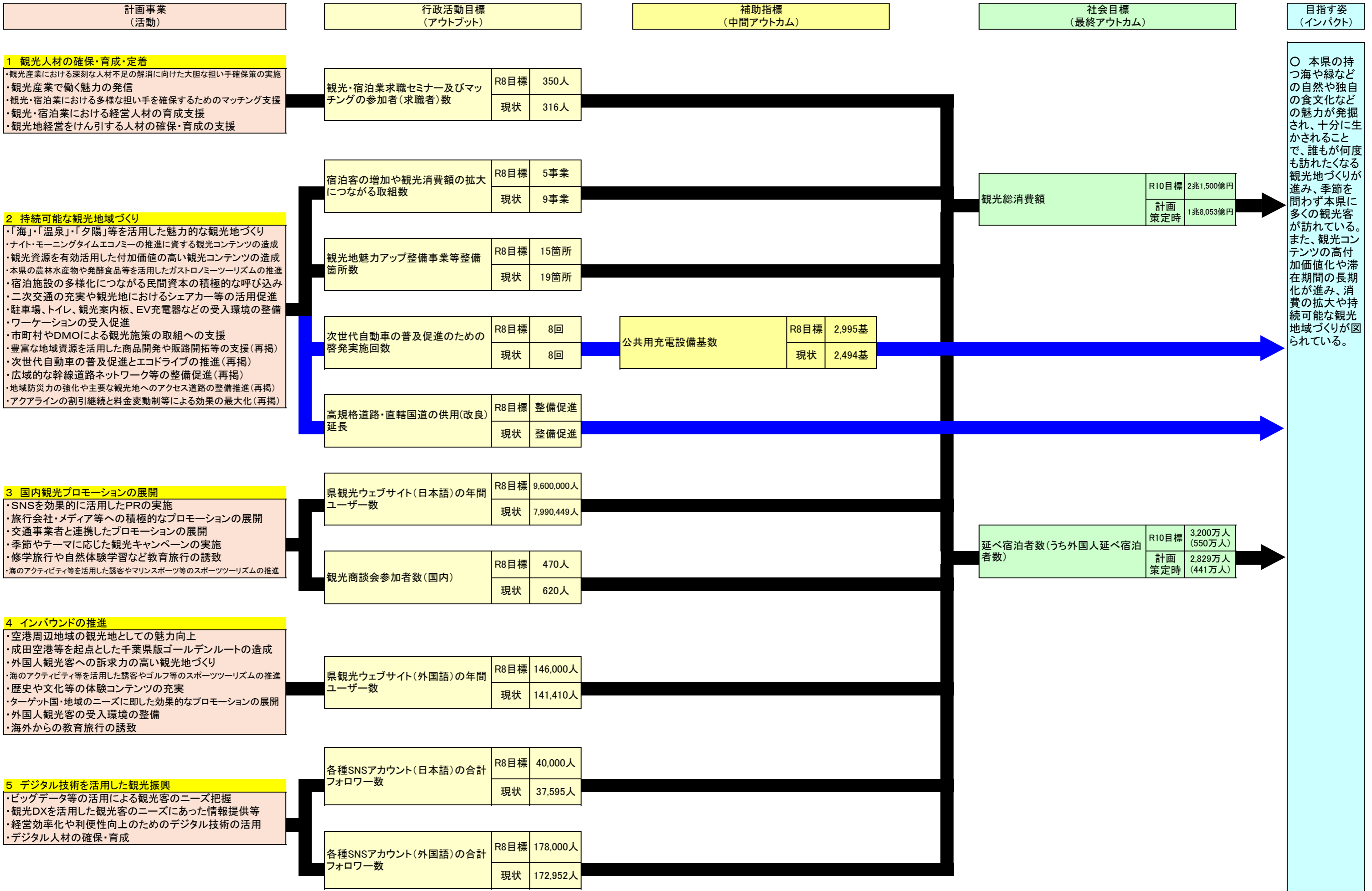
幕張メッセ来場者	R8目標	506万人
	現状	472万人



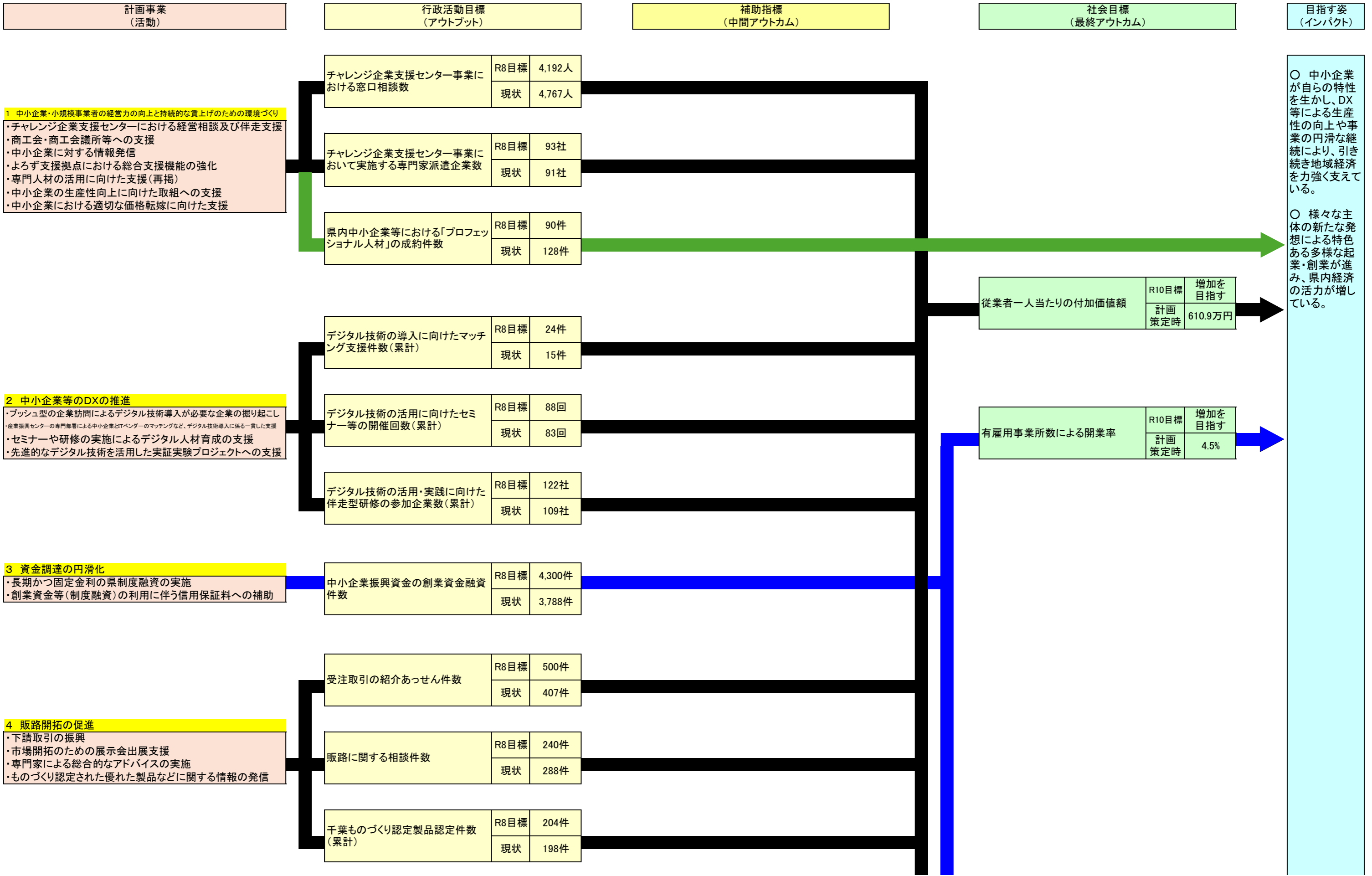
【ロジックモデル】
施策項目Ⅱ-1-③ 成田空港を核とした国際的な産業拠点の形成と地域づくり



【ロジックモデル】
 施策項目Ⅱ-1-④ 観光立県の推進



【ロジックモデル】
 施策項目Ⅱ-1-⑤ 中小企業・小規模事業者の経営基盤強化



5 起業・創業の促進
 ・チャレンジ企業支援センターにおけるワンストップ支援
 ・イベント等の開催による起業機運の醸成
 ・起業家の育成・経営支援、起業家同士による交流の促進
 ・若年層のアントレプレナーシップ向上支援
 ・創業資金等(制度融資)の利用に伴う信用保証料への補助(再掲)
 ・市町村における創業支援体制の整備推進

チャレンジ企業支援センター事業における創業に関する相談件数	R8目標	463件
	現状	596件
ちば起業支援事業における起業家大交流会の参加者数	R8目標	446人
	現状	462人

6 中小企業等の人材確保・育成支援
 ・中小企業への人材採用・定着支援
 ・外国人材の採用・定着支援
 ・雇用に結びつく効果的な職業訓練の実施(再掲)
 ・在職者への能力開発支援(再掲)
 ・障害者雇用の促進と定着支援
 ・専門人材の活用に向けた支援

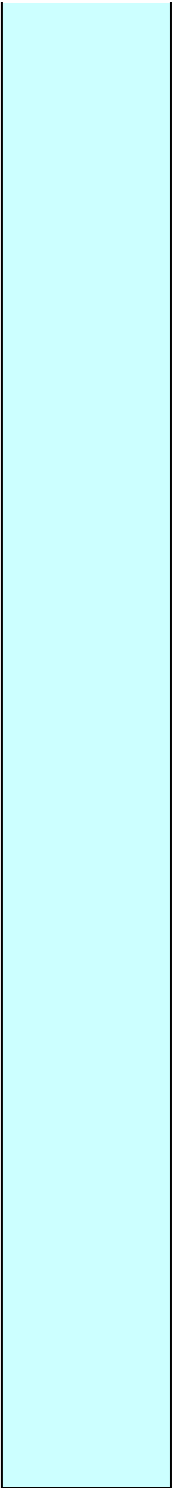
県立テクノスクールにおける在職者訓練(ちば企業人スキルアップセミナー)事業の受講者数	R8目標	200人
	現状	185人
技能検定受検者の申請者数(随時実施分を除く)	R8目標	増加を目指す
	現状	2,378人
県内中小企業等における「プロフェッショナル人材」の成約件数	R8目標	90件
	現状	128件

7 事業承継支援
 ・千葉県事業承継・引継ぎ支援センター等と連携した支援強化
 ・市町村・金融機関・商工団体との連携強化

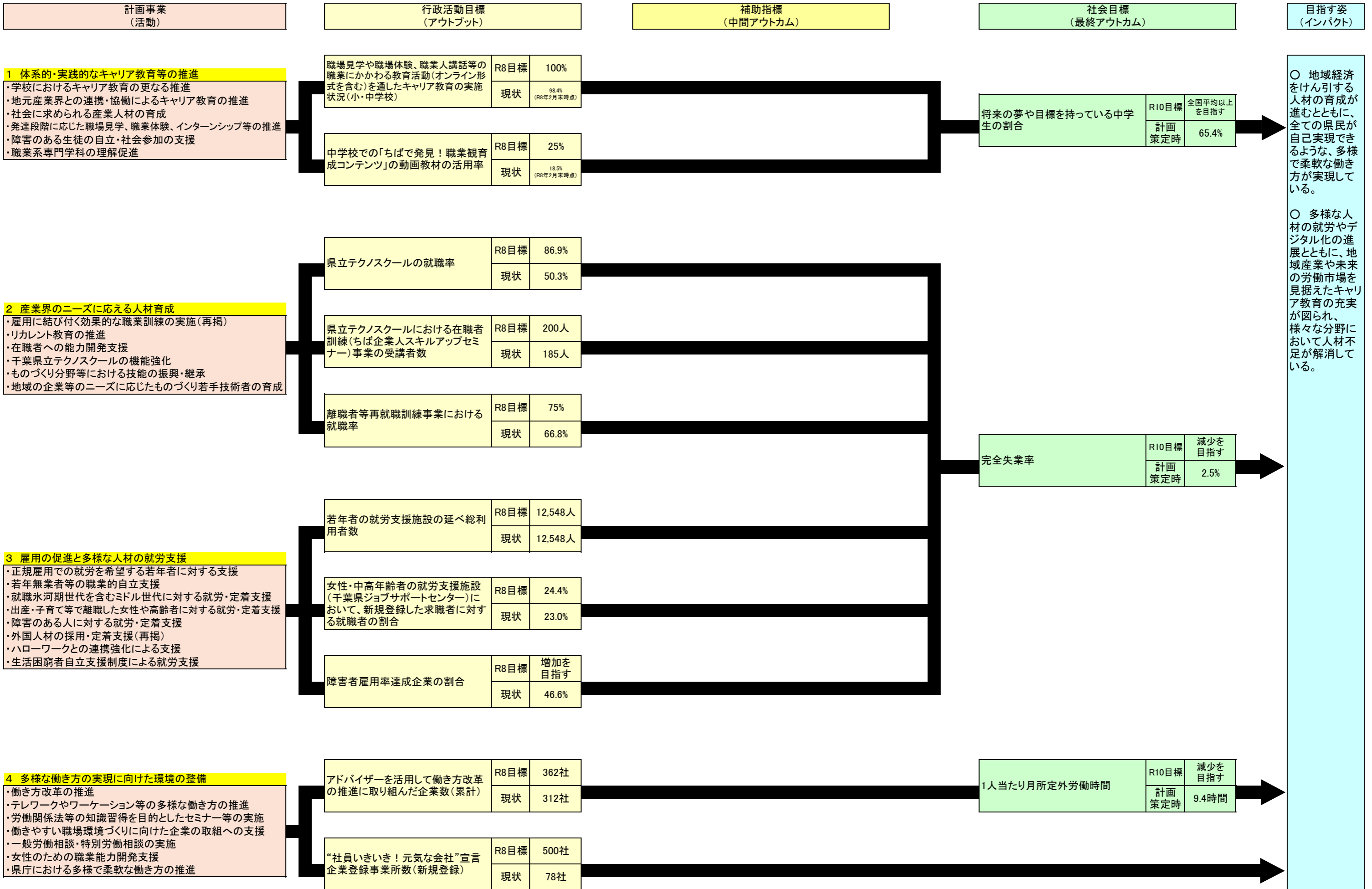
千葉県事業承継・引継ぎ支援センターにおける相談件数	R8目標	790件
	現状	756件

8 商店街の活性化支援
 ・商店街のにぎわいづくりへの支援
 ・商店街若手リーダーの育成
 ・商店街連合組織の機能強化
 ・「事業者の地域貢献に関するガイドライン」による取組促進

地域商業活性化コーディネーター派遣回数	R8目標	40回
	現状	68回
商店街若手リーダーの養成数(累計)	R8目標	485人
	現状	472人



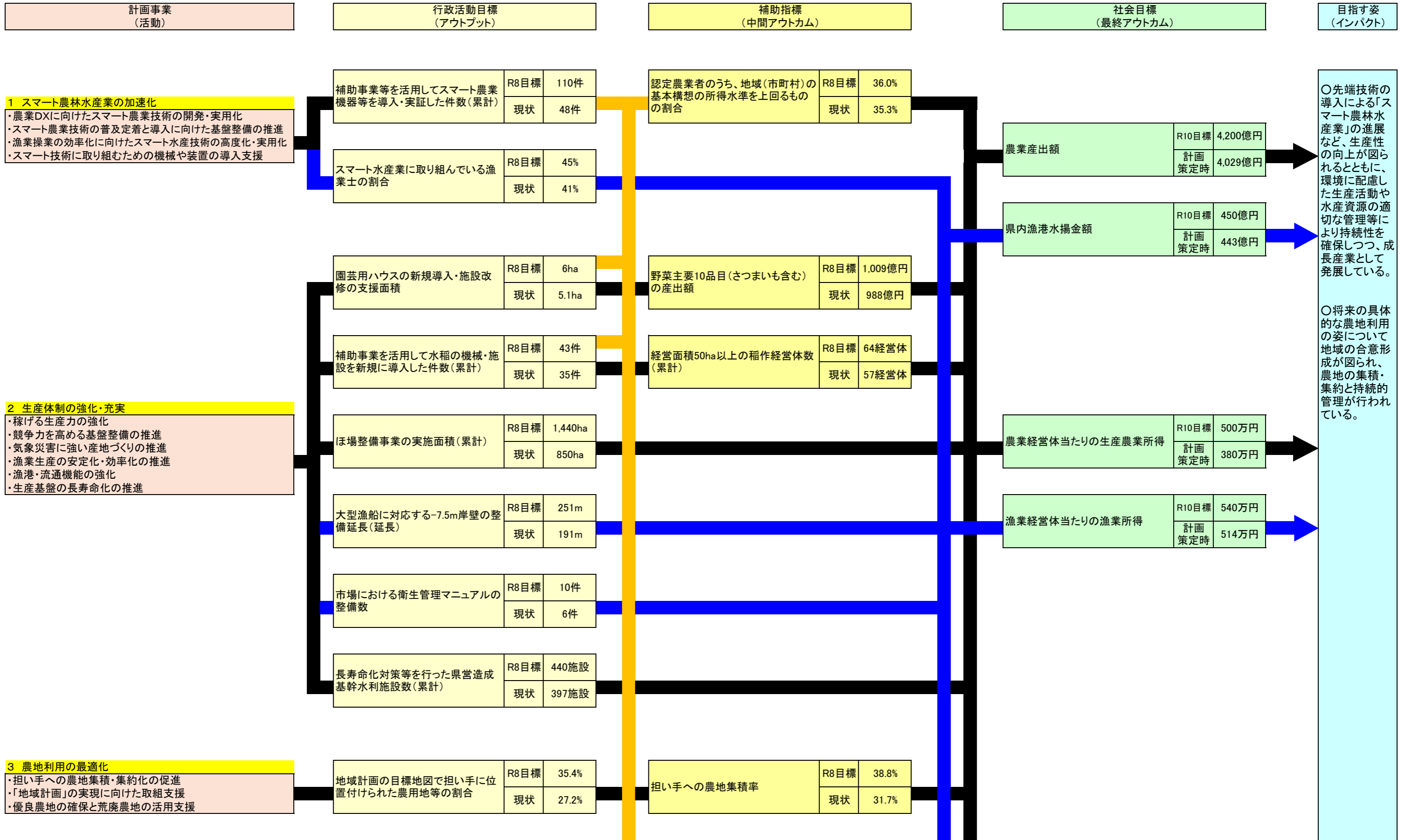
【ロジックモデル】
 施策項目Ⅱ-1-⑥ 産業人材の育成と就労支援



【ロジックモデル】
 施策項目Ⅱ-2-① 次世代を担う人材の確保・育成



【ロジックモデル】
 施策項目Ⅱ-2-② 農林水産業の成長力の強化



4 持続可能な畜産業の実現
 ・畜産経営の体質強化
 ・食肉の流通合理化に向けた食肉センターの再編整備への支援

牛群改良に取り組む農家割合	R8目標	33.1%
	現状	30.7%
遺伝的能力が判明している繁殖和牛頭数の累計	R8目標	2,540頭
	現状	2,222頭

経産牛1頭当たりの乳量	R8目標	9,522kg
	現状	9,437kg
優良な繁殖和牛の割合	R8目標	27.0%
	現状	26.0%

5 水産資源の管理と維持・増大
 ・改正漁業法に基づく新たな資源管理の推進
 ・実効性のある資源管理の推進
 ・つくり育てる漁業の推進

県が行う資源評価で資源水準が中位水準以上の水産資源の割合	R8目標	増加を目指す
	現状	67%

6 農林水産物の安全確保と消費者の信頼確保
 ・農林水産物における肥料・農薬等の適正使用の推進
 ・食品の適正表示(再掲)
 ・食品等営業施設の監視指導(再掲)
 ・品質・衛生管理対策の推進

食品表示の適正化に係る巡回調査	R8目標	100件/年
	現状	100件/年

違反食品件数	R8目標	70件以下を目指す
	現状	規格基準違反1件 不適正表示53件

市場における衛生管理マニュアルの整備数	R8目標	10件
	現状	6件

高温対策に資する機械・装置等の導入支援件数(累計)	R8目標	450件
	現状	—

7 環境に配慮した農林水産物と高温対策の推進
 ・環境に配慮した農業や有機農業、耕畜連携の推進
 ・農業用廃プラスチックの適正処理の推進
 ・夏の高温等の気候変動に適応する農業の推進
 ・環境に配慮した多様な森林づくりの推進
 ・病虫害防除対策や林地開発の適正化による健全な森林の保全
 ・環境変動に適応する漁業の推進

「環境にやさしい農業」に資する機械・施設・資材の導入を支援した件数	R8目標	10件/年
	現状	10件/年

「環境にやさしい農業」の取組面積(累計)	R8目標	6,400ha
	現状	6,244ha

間伐面積	R8目標	236ha/年
	現状	222ha/年

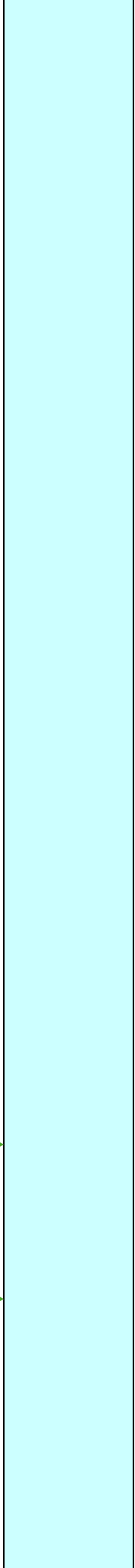
木材生産量	R8目標	76,400m ³ /年
	現状	72,800m ³ /年

森林環境譲与税を活用した市町村による森林整備面積	R8目標	82ha/年
	現状	67.16ha/年

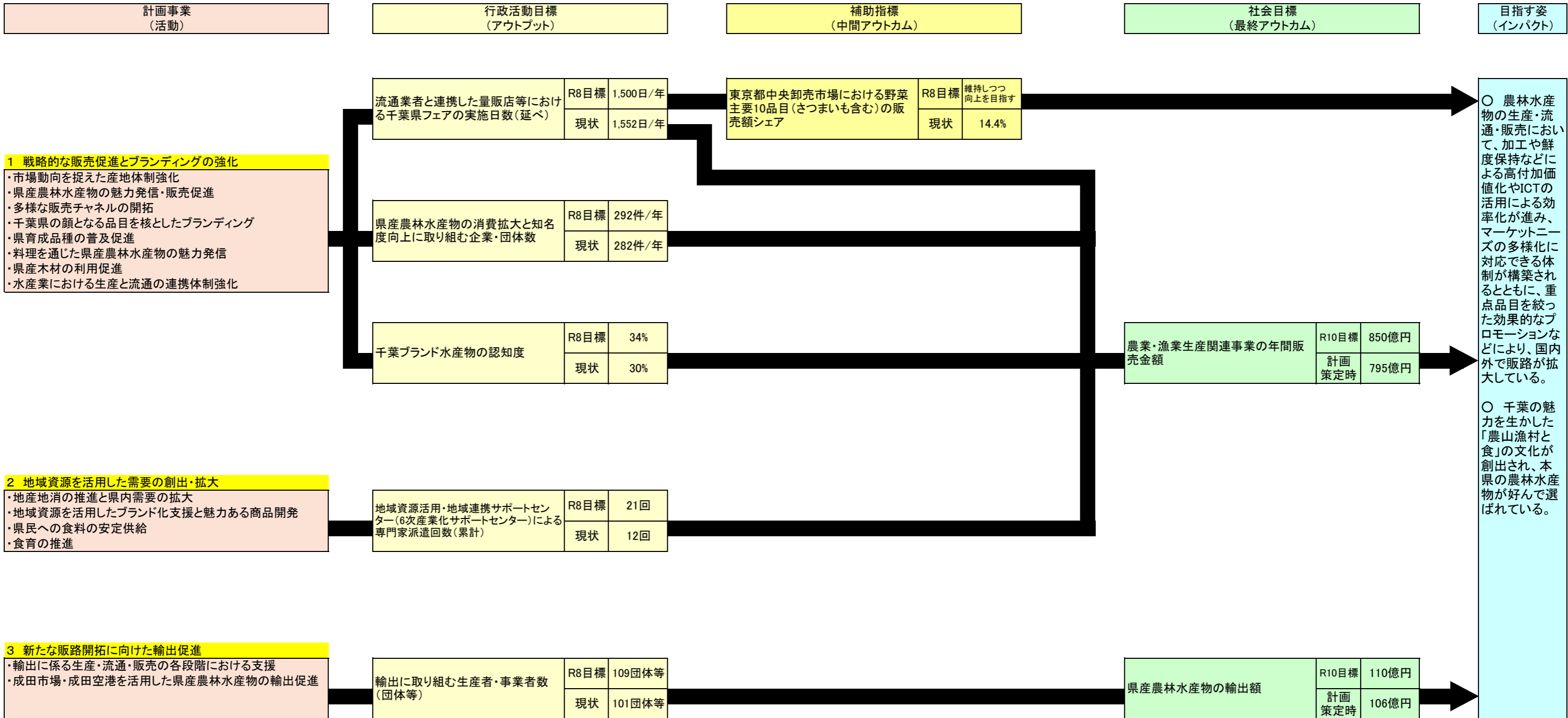
8 農林水産物における試験研究の強化
 ・先端技術を活用した生産力強化と成長産業化に資する研究の推進
 ・持続可能な農林水産物の実現に向けた環境変動への適応策と緩和策に係る研究の推進
 ・研究体制の再構築と研究施設整備

新品種・新系統育成選抜数(累計)	R8目標	74件
	現状	73件

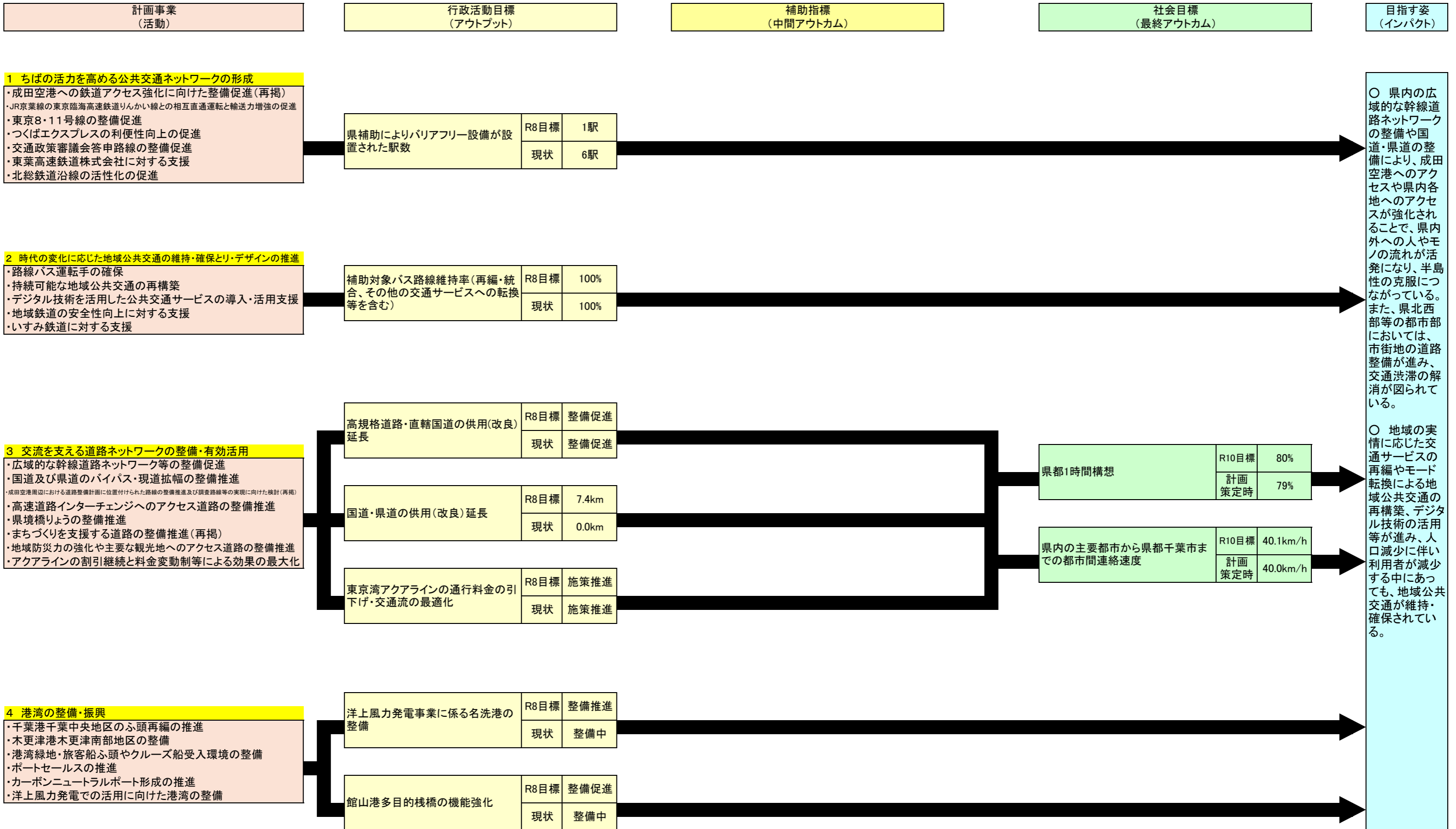
試験研究成果普及情報数(累計)	R8目標	1,004件
	現状	943件



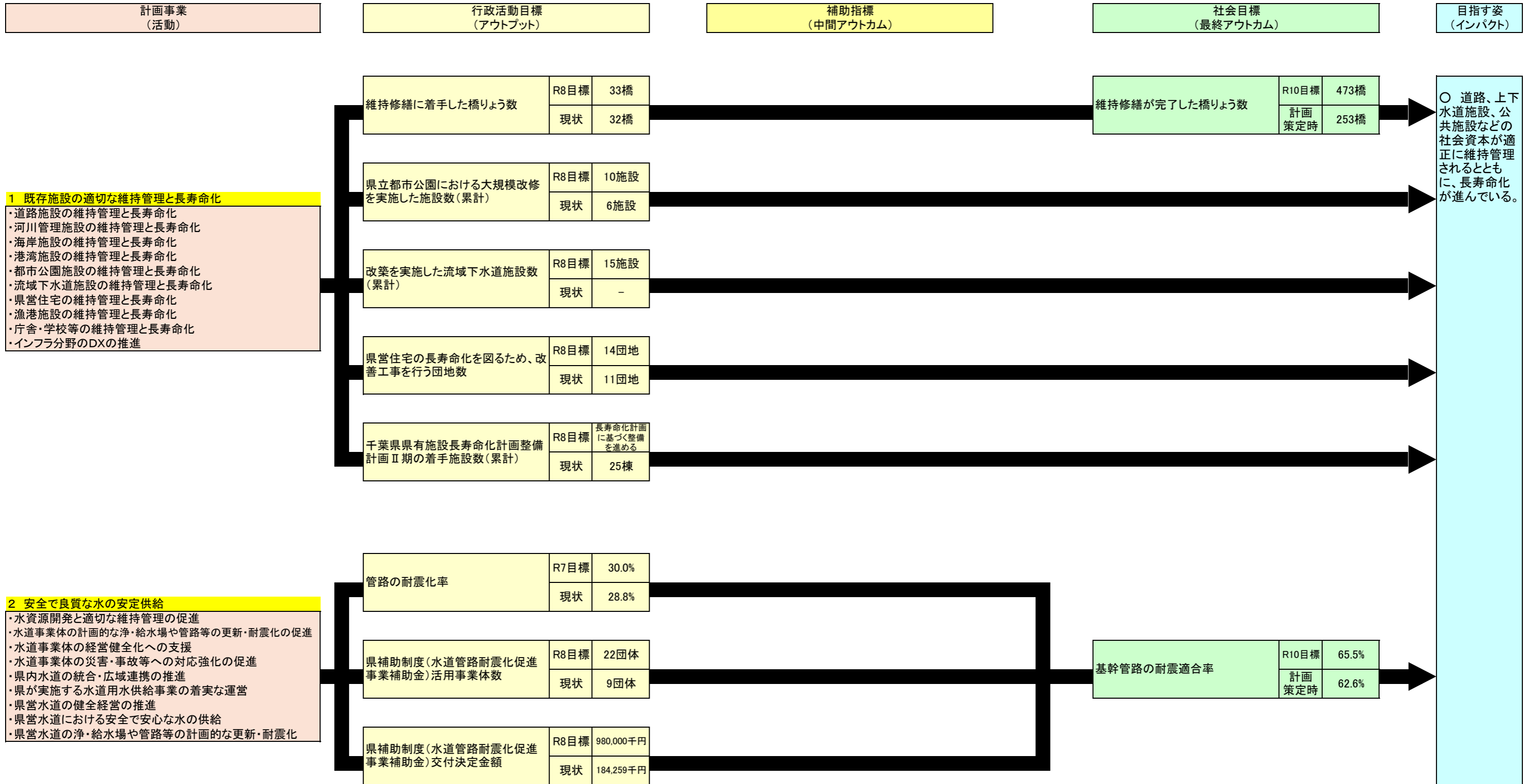
【ロジックモデル】
 施策項目Ⅱ-2-③ 需要を捉えた販売力の強化と輸出促進



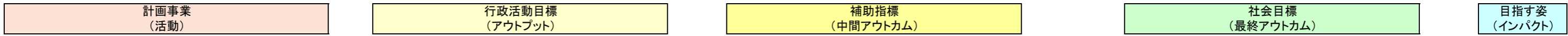
【ロジックモデル】
 施策項目Ⅱ-3-① 半島性を克服する交通ネットワークの強化



【ロジックモデル】
 施策項目Ⅱ-3-② 社会資本の適正な維持管理



【ロジックモデル】
 施策項目Ⅱ-3-③ 快適で暮らしやすいまちづくりとスマート自治体の実現



1 次世代に向けたまちづくりの推進
 ・広域的なマスタープランの導入による都市計画の見直し
 ・都市計画基礎調査や都市計画情報のオープンデータの整備によるまちづくりDXの促進
 ・コンパクトシティの構築や新たな産業用地整備の促進など、持続可能なまちづくりに向けた市町村支援

2 安全・安心で魅力あふれるまちづくり
 ・つくばエクスプレス沿線土地区画整理事業の推進
 ・金田西特定土地区画整理事業の推進
 ・土地区画整理事業・市街地再開発事業の促進
・コンパクトシティの構築や新たな産業用地整備の促進など、持続可能なまちづくりに向けた市町村支援(再掲)
 ・道の駅等の機能強化(再掲)
 ・交通遮断時間の多い踏切除去の推進
 ・まちづくりを支援する道路の整備推進
 ・都市公園の整備推進
 ・流域下水道整備の推進
 ・自転車通行環境の整備推進(再掲)
 ・優れた建築物の普及啓発
 ・地籍調査事業の推進(再掲)
 ・透水性舗装・排水性舗装の推進

年度毎に都市計画変更を実施した都市計画区域数	R8目標	47区域
	現状	15区域

市町村のまちづくりに対する支援のための講演会、研修会等の開催回数	R8目標	9回
	現状	9回

つくばエクスプレス沿線土地区画整理事業の整備面積	R8目標	359.5ha
	現状	346.3ha

金田西特定土地区画整理事業の整備面積	R8目標	110.8ha
	現状	107.9ha

市町村及び組合施行等の土地区画整理事業の整備面積	R8目標	1,508ha
	現状	1,486ha

市町村及び組合施行等の市街地再開発事業の地区数	R8目標	4地区
	現状	4地区

整備中の県立都市公園の整備面積(累計)	R8目標	38.6ha
	現状	37.3ha

下水道処理人口普及率	R8目標	79.2%
	現状	78.1%

優れた建築物の表彰件数(累計)	R8目標	276件
	現状	267件

地籍調査の着手又は再開市町村数	R8目標	2市町村
	現状	0市町村

立地適正化計画策定市町村数	R10目標	22市町村
	計画策定時	14市町村

汚水処理人口普及率	R10目標	93.7%
	計画策定時	91.2%

○ 地域が持つ魅力が最大限に活かされたまちづくりが進み、県民がゆとりある暮らしを楽しんでいる。

○ バリアフリー化が進み、障害のある人も、高齢者も誰もが安心して快適な暮らしができています。

3 バリアフリー化の推進

- ・障害者等用駐車区画利用証制度の普及・啓発
- ・公共交通におけるバリアフリー化の推進
- ・福祉タクシーの導入促進
- ・特定道路のバリアフリー化対策の推進
- ・交通安全施設のバリアフリー化の推進
- ・ちばバリアフリーマップの充実・周知
- ・公共施設におけるバリアフリー化の推進

県補助によりバリアフリー設備が設置された駅数	R8目標	1駅
	現状	6駅

4 環境・景観に配慮した整備・保全

- ・河川・海岸環境の整備・保全とにぎわいづくり
- ・周辺環境に配慮した道路の整備推進
- ・透水性舗装・排水性舗装の推進(再掲)
- ・都市における緑の保全と緑化の推進
- ・都市公園の整備推進(再掲)
- ・コンパクトシティの構築や新たな産業用地整備の促進など、持続可能なまちづくりに向けた市町村支援(再掲)
- ・屋外広告物の規制・誘導
- ・良好な景観形成に向けた啓発活動の実施及び市町村支援
- ・グリーンインフラの整備推進(再掲)

透水性舗装の整備延長(累計)	R8目標	235.5km
	現状	234.5km

都市計画区域内人口一人当たりの都市公園面積	R8目標	増加を目指す
	現状	7.22㎡/人

景観計画策定市町村数	R8目標	増加を目指す
	現状	23市町村

5 豊かな住生活の実現

- ・住情報の提供
- ・良質な住宅の供給促進
- ・高齢者等の住宅確保要配慮者に対する適切な住宅の確保
- ・既存住宅の流通・活用の促進
- ・空き家の適切な維持管理・流通・活用の促進
- ・県営住宅の建設・管理
- ・マンション管理の支援

空家等対策推進事業により支援した市町村数の合計	R8目標	23市町村
	現状	22市町村

空家等対策計画を策定した市町村数	R8目標	増加を目指す
	現状	51市町村

居住支援に関する講習会、研修会等の開催回数	R8目標	4回
	現状	4回

リフォーム講習会及び相談会の開催回数	R8目標	5回
	現状	5回

マンション管理基礎講座の開催回数	R8目標	4回
	現状	3回

県営住宅の長寿命化を図るため、改善工事を行う団地数	R8目標	14団地
	現状	11団地

6 スマート自治体の実現

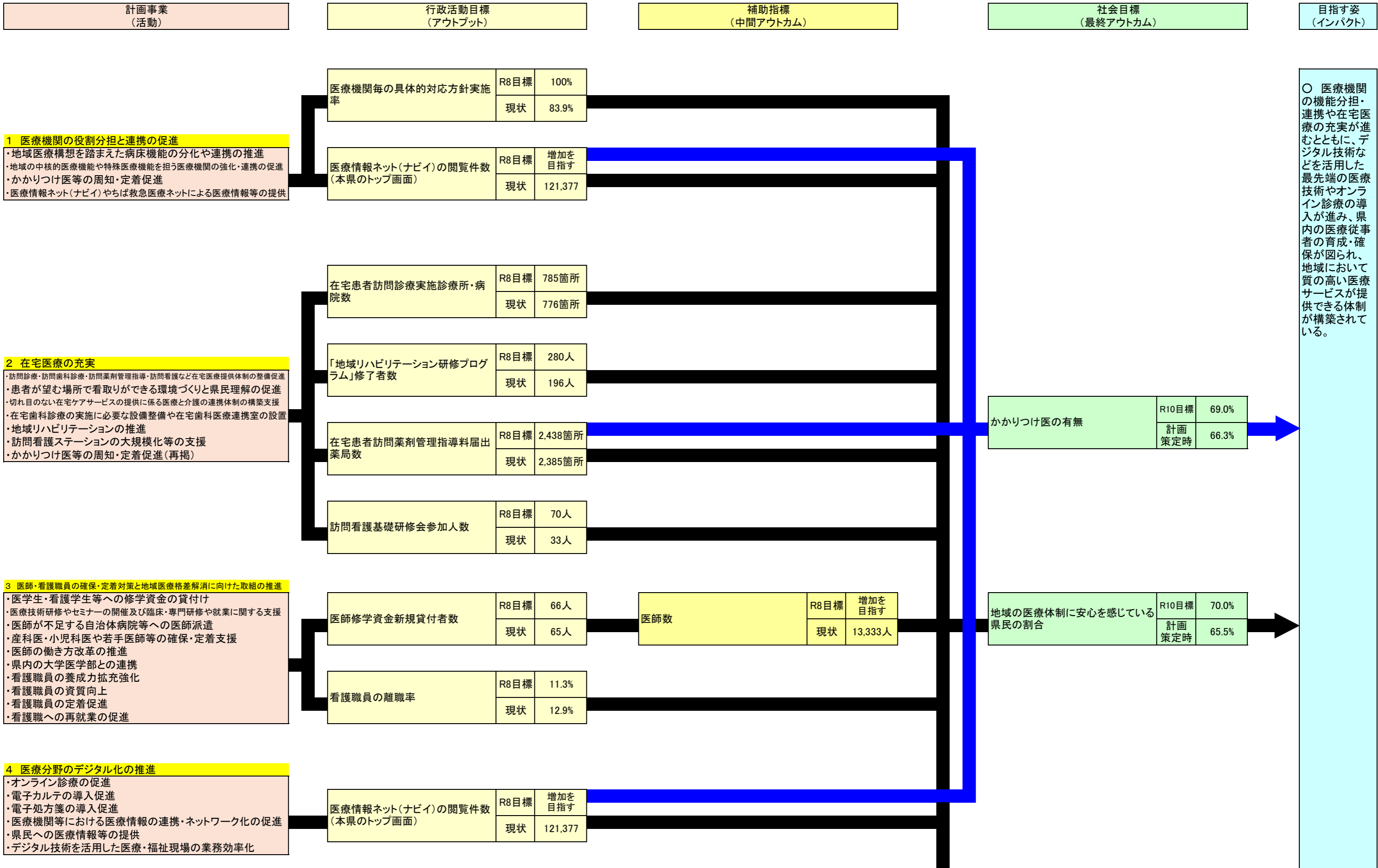
- ・行政手続オンライン化・キャッシュレス決済の推進
- ・生成AIやチャットボット等のデジタルツール等の効果的な活用
- ・オープンデータの整備や活用機運の醸成等の推進
- ・行政内部におけるデータ活用の推進
- ・外部専門人材の活用による市町村DXの促進
- ・市町村との連携によるシステムの共同調達・共同利用

業務改善取組件数	R8目標	176件
	現状	133件

オンライン化した行政手続の件数	R8目標	516件
	現状	459件

行政手続のオンライン化率	R10目標	98.0%
	計画策定時	63.0%

【ロジックモデル】
 施策項目Ⅲ-1-① 増大する医療需要への対応



5 救急医療体制の整備

- ・ドクターヘリの活用
- ・地域医療の現状を踏まえた救命救急センターの体制強化
- ・AED(自動体外式除細動器)及び心肺蘇生法の普及促進
- ・救急安心電話相談の実施

県ホームページで公表しているAED 設置施設数	R8目標	7,495箇所
	現状	6,936箇所
救急安心電話相談件数	R8目標	44,324件
	現状	47,858件

6 周産期・小児救急医療体制の整備

- ・周産期母子医療センターの支援
- ・母体搬送コーディネート体制(24時間・365日体制)の確保
- ・母体の県域を越えた緊急搬送の適正な運用
- ・小児救急電話相談の実施
- ・小児救命救急センターの支援
- ・小児救急医療拠点病院の支援
- ・小児救急医療に係る夜間・休日診療所運営の支援

小児救急電話相談件数	R8目標	57,016件
	現状	51,439件

7 自治体病院への支援

- ・自治体が行う医療施設整備に対する支援
- ・医師が不足する自治体病院等への医師派遣(再掲)
- ・医学生への修学資金の貸付け

自治体病院医師数	R8目標	増加を 目指す
	現状	1,076人

8 県立病院の経営安定化と機能強化

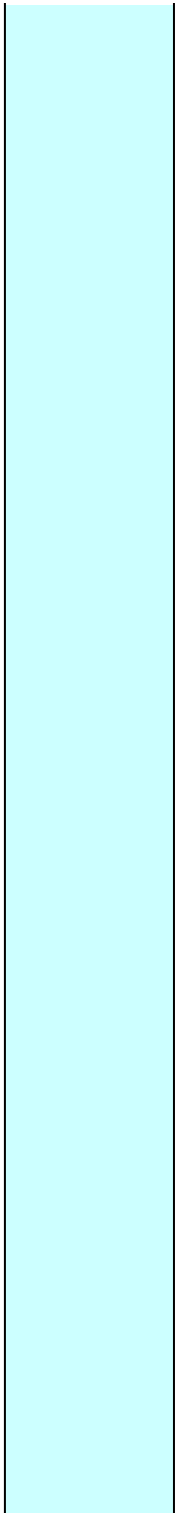
- ・安全・安心な質の高い医療の提供
- ・がんセンター等の施設整備
- ・千葉リハビリテーションセンターの再整備
- ・安全で質の高い医療提供のための医療機器等の整備
- ・勤務環境改善や研修等の充実による人材確保及び育成
- ・災害医療の強化
- ・デジタル技術を活用した医療提供体制の強化

県立病院新入院患者数	R8目標	21,894人
	現状	20,463人
県立病院新外来患者数	R8目標	32,688人
	現状	25,628人

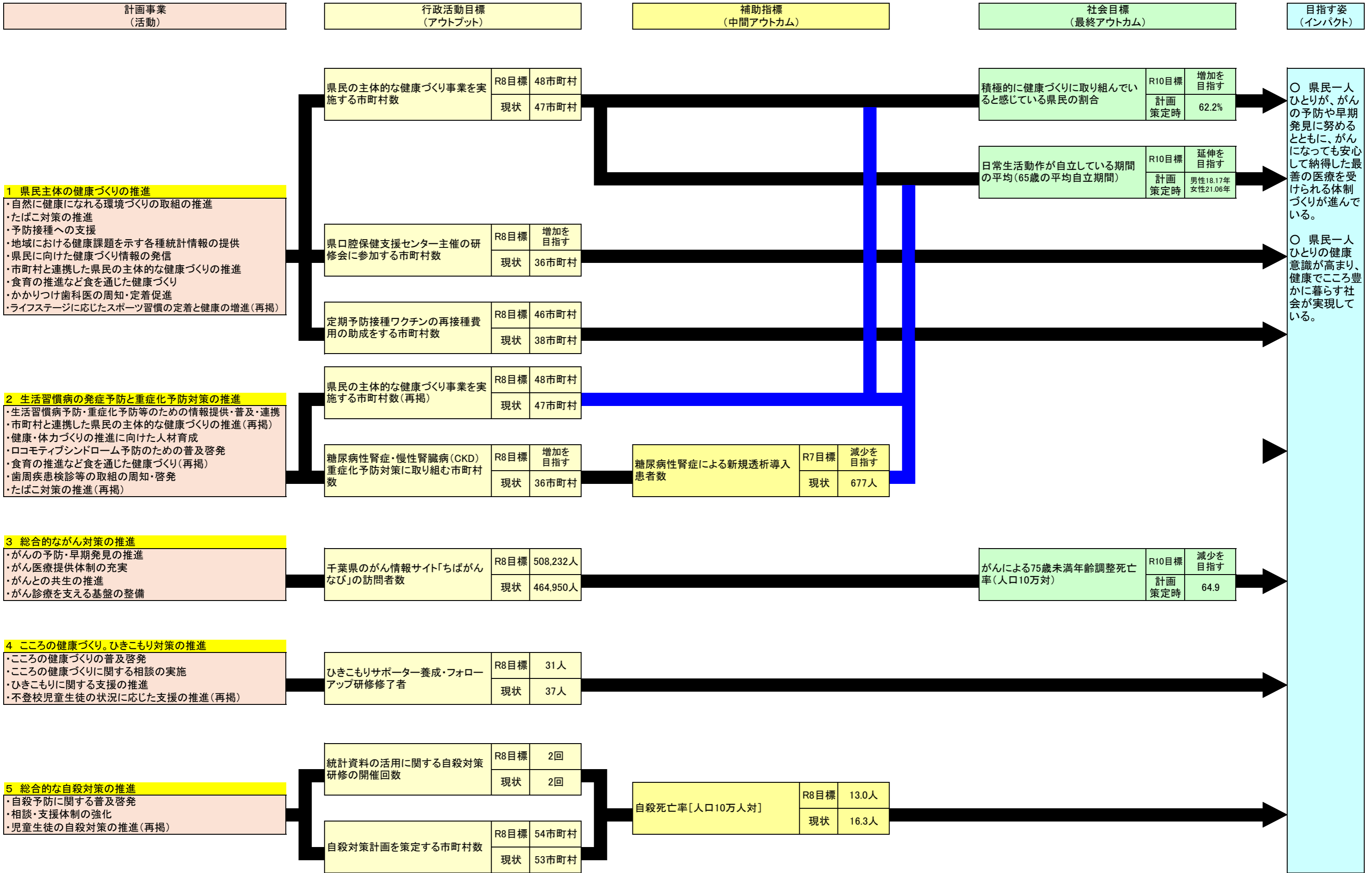
9 県立保健医療大学の機能強化

- ・デジタル化や国際化に対応できる保健医療人材の育成
- ・県の健康づくり政策に対するシンクタンク機能の強化
- ・リカレント教育機能の強化
- ・施設・設備面の充実・強化
- ・大学院の設置等、より高度な教育課程の設置

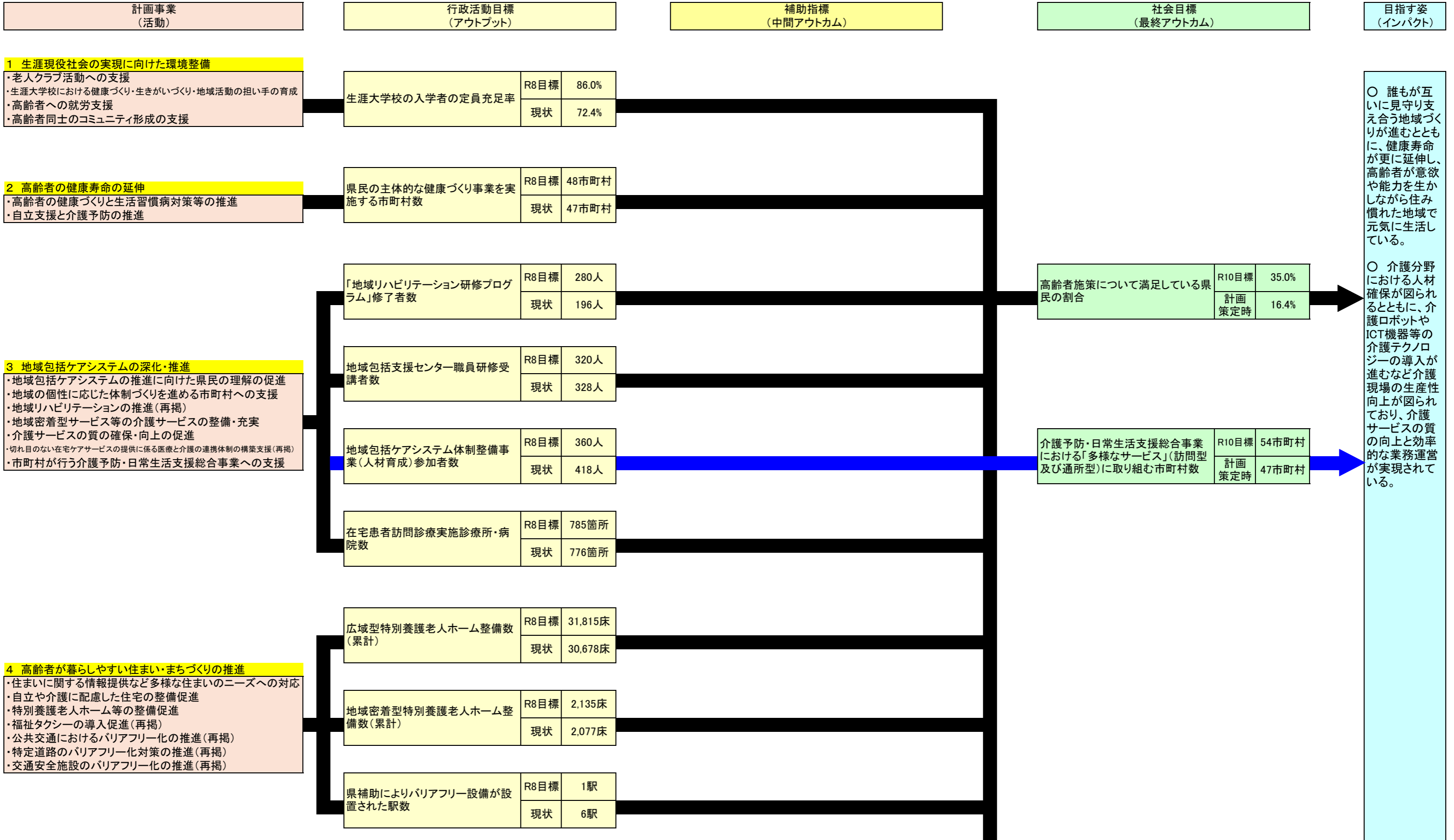
保健医療大学機能強化推進事業の 実施	R8目標	保健医療大学 機能強化推進事業 を実施し、機能強化 に向けた取組を進
	現状	—



【ロジックモデル】
 施策項目Ⅲ-1-② 生涯を通じた健康づくりと予防医療の推進



【ロジックモデル】
 施策項目Ⅲ-2-① 高齢者福祉の充実



5 福祉・介護人材確保・定着対策の推進

- ・福祉・介護の仕事の魅力発信
- ・福祉・介護分野における人材の就業促進とマッチング支援
- ・潜在有資格者等の就労支援
- ・ケアマネジャーの研修受講料の助成
- ・キャリアアップのための研修の促進
- ・福祉人材センターの運営
- ・外国人介護人材の就業促進

介護の未来案内人事業による訪問授業、ワークショップ等の実施回数	R8目標	28回
	現状	27回

介護支援専門員研修受講料補助の助成対象となっている研修の受講者数	R8目標	1,824人
	現状	2,081人

有効な介護支援専門員証を有する介護支援専門員の人数	R8目標	12,600人
	現状	11,383人

キャリアアップ研修受講者数	R8目標	2,610人
	現状	1,351人

外国人介護人材支援センターでの制度説明会・研修の受講者数	R8目標	260人
	現状	244人

6 介護現場の生産性向上の推進や経営の協働化・大規模化

- ・介護テクノロジーの導入支援
- ・介護業務効率アップセンターの運営など介護事業所における業務改善の取組への支援

県補助により介護テクノロジーが導入された事業所数	R8目標	540事業所
	現状	522事業所

介護業務効率アップセンター事業における研修参加事業所数	R8目標	110事業所
	現状	95事業所

「ちばSSKプロジェクト」協定締結企業数(累計)	R8目標	13社
	現状	13社

7 高齢者の尊厳を守りながら地域で支え合う仕組みづくりの推進

- ・「ちばSSK(しない・させない・孤立化！)プロジェクト」の推進
- ・市町村が行う介護予防・日常生活支援総合事業への支援(再掲)
- ・生涯大学校における健康づくり・生きがいづくり・地域活動の担い手の育成(再掲)
- ・高齢者虐待防止対策の一層の推進
- ・成年後見制度の周知及び地域における体制づくりの促進

生涯大学校の入学者の定員充足率	R8目標	86.0%
	現状	72.4%

高齢者の虐待防止対策研修受講者数	R8目標	850人
	現状	518人

高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修受講者	R8目標	660人
	現状	473人

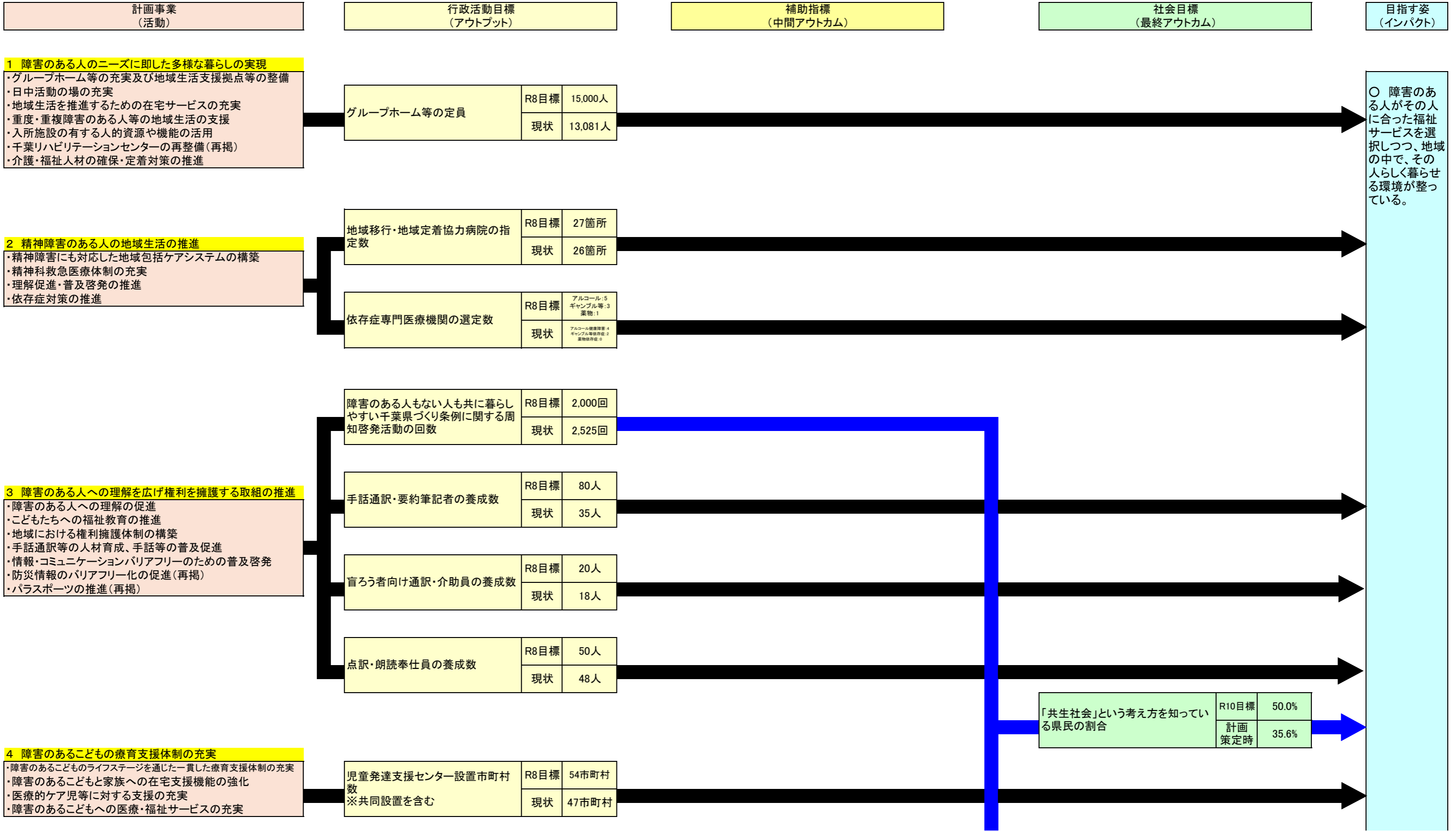
8 認知症の人や家族などに対する総合的な支援の推進

- ・認知症に対する正しい理解の普及・啓発と認知症バリアフリーの推進
- ・認知症予防の推進
- ・早期診断と適切な医療・介護連携体制の整備及び多職種協働の推進
- ・認知症支援に携わる人材の養成
- ・本人やその家族への支援と本人発信支援
- ・若年性認知症施策の推進

認知症サポート医の養成人数(累計)	R8目標	720人
	現状	707人

認知症サポーター数(累計)	R8目標	753,000人
	現状	729,873人

【ロジックモデル】
 施策項目Ⅲ-2-② 障害者福祉の充実



5 障害のある人の相談支援体制の充実

- ・地域における相談支援体制の充実
- ・地域における相談支援従事者研修の充実

基幹相談支援センター設置市町村数 ※共同設置を含む	R8目標	54市町村
	現状	47市町村

相談支援専門コース別研修事業の開催数	R8目標	5回
	現状	4回

6 障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実

- ・就労支援・定着支援の体制強化
- ・障害者就業・生活支援センターの運営強化
- ・障害のある人を雇用する企業等への支援
- ・支援機関や関係機関のネットワークの構築及び情報共有化
- ・福祉施設等で生産活動・福祉的就労を行う障害のある人の工賃(賃金)向上への取組の推進
- ・障害のある人の自らの価値観に基づいた働き方の選択を尊重した支援

福祉施設利用者の一般就労への移行実績	R8目標	1,560人
	現状	1,677人

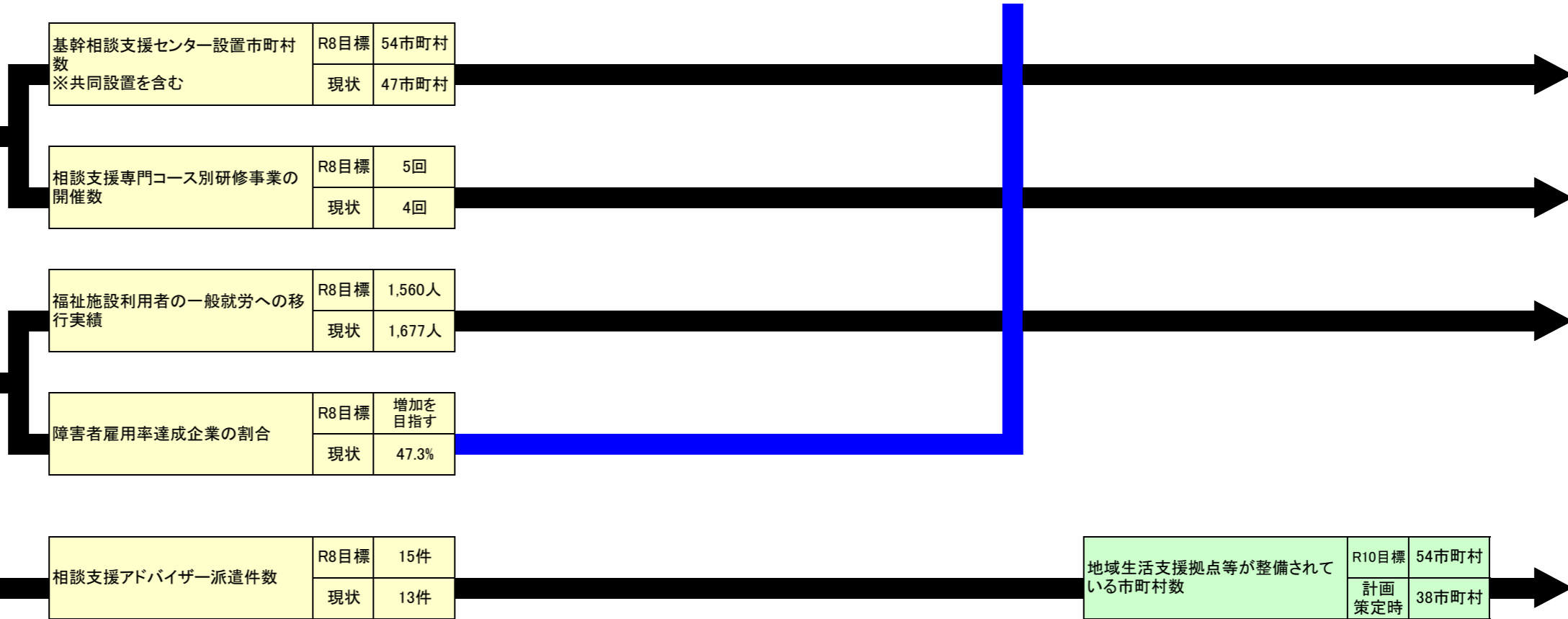
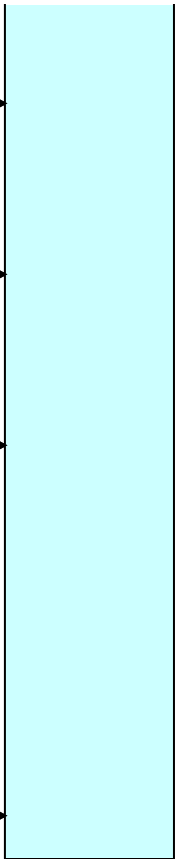
障害者雇用率達成企業の割合	R8目標	増加を目指す
	現状	47.3%

7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実

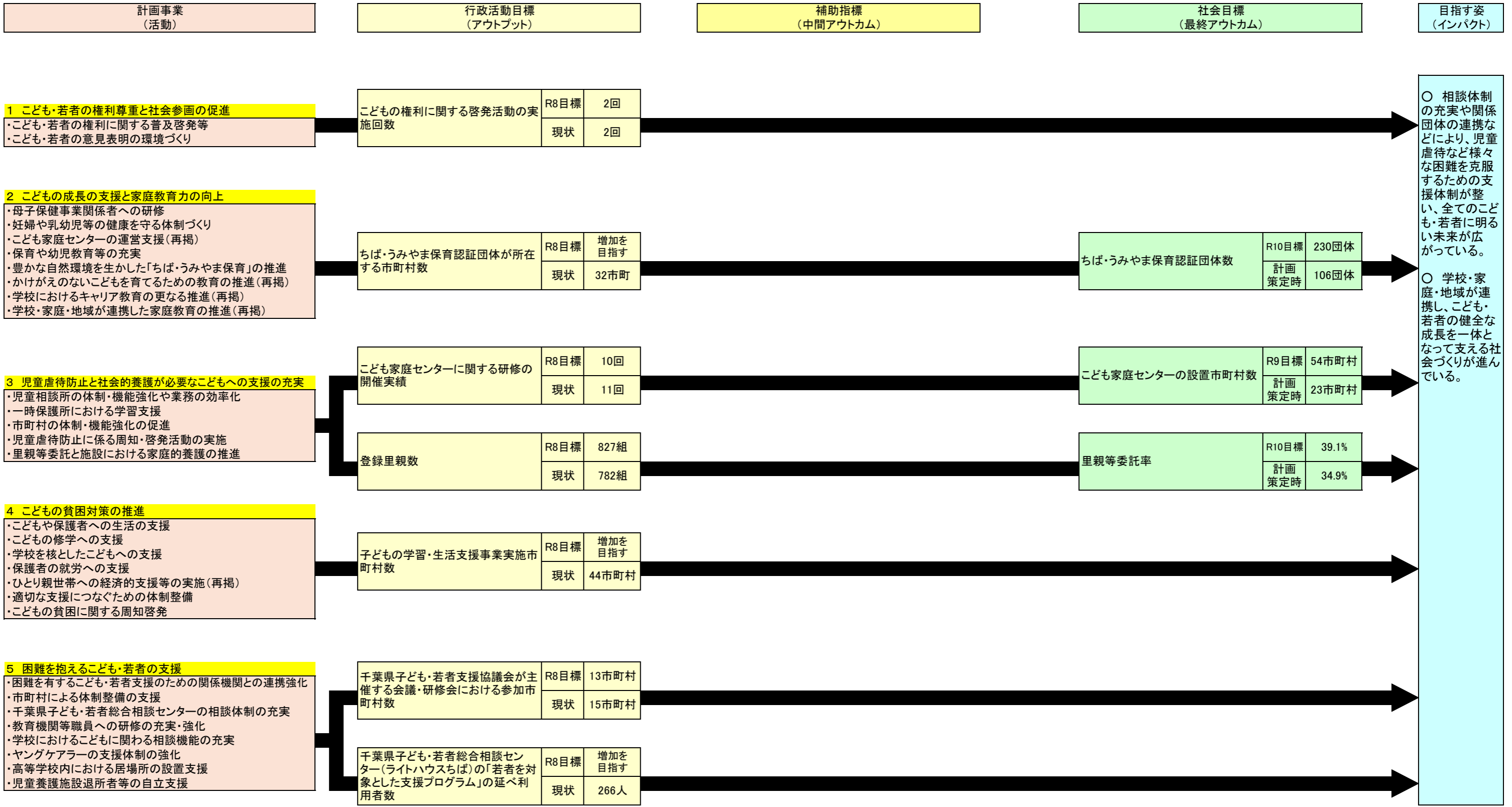
- ・地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進
- ・通所サービスだけでは支援が困難な障害に対する支援の推進
- ・重度・重複障害のある人の負担軽減の推進
- ・ひきこもりに関する支援の推進(再掲)

相談支援アドバイザー派遣件数	R8目標	15件
	現状	13件

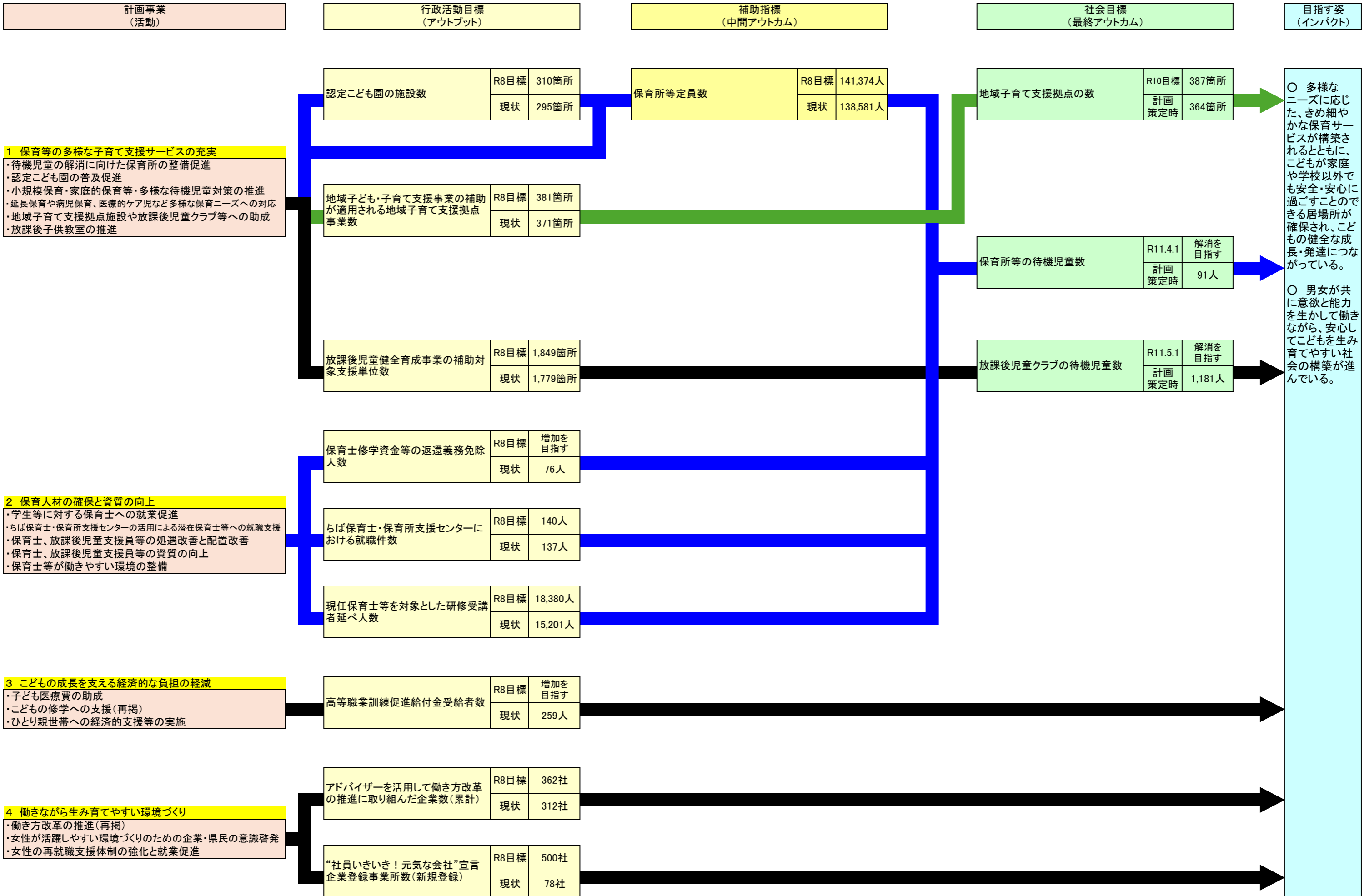
地域生活支援拠点等が整備されている市町村数	R10目標	54市町村
	計画策定時	38市町村



【ロジックモデル】
 施策項目Ⅳ-1-① こども・若者の健やかな成長への支援



【ロジックモデル】
 施策項目Ⅳ-1-② 安心して子育てできる環境づくり



5 男女が協力して子育てできる環境づくり

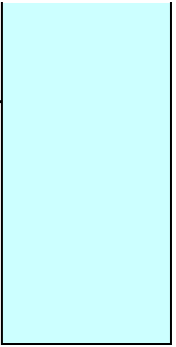
- ・企業等との連携などによる男女共同参画の意識の普及・啓発(再掲)
- ・仕事と家庭の両立支援に取り組む企業等の表彰(再掲)
- ・働き方改革の推進(再掲)

男女共同参画・多様性社会推進事業所表彰件数	R8目標	6件
	現状	6件

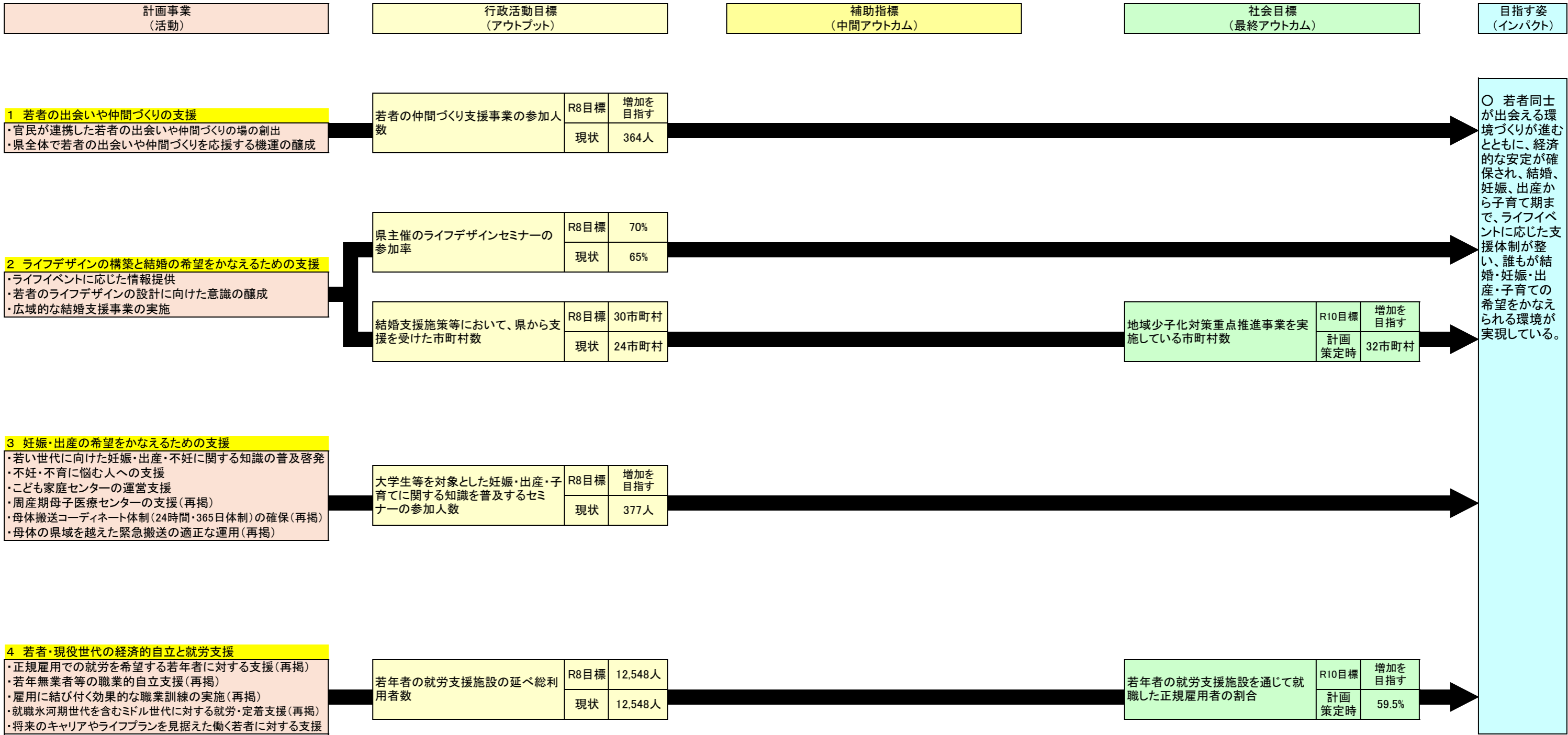
6 企業参画による子育て支援

- ・企業参画型子育て支援事業(子育て応援! チーパス事業や「チーバくん」を活用した子育て応援事業)の推進
- ・協賛店拡大のための取組の実施

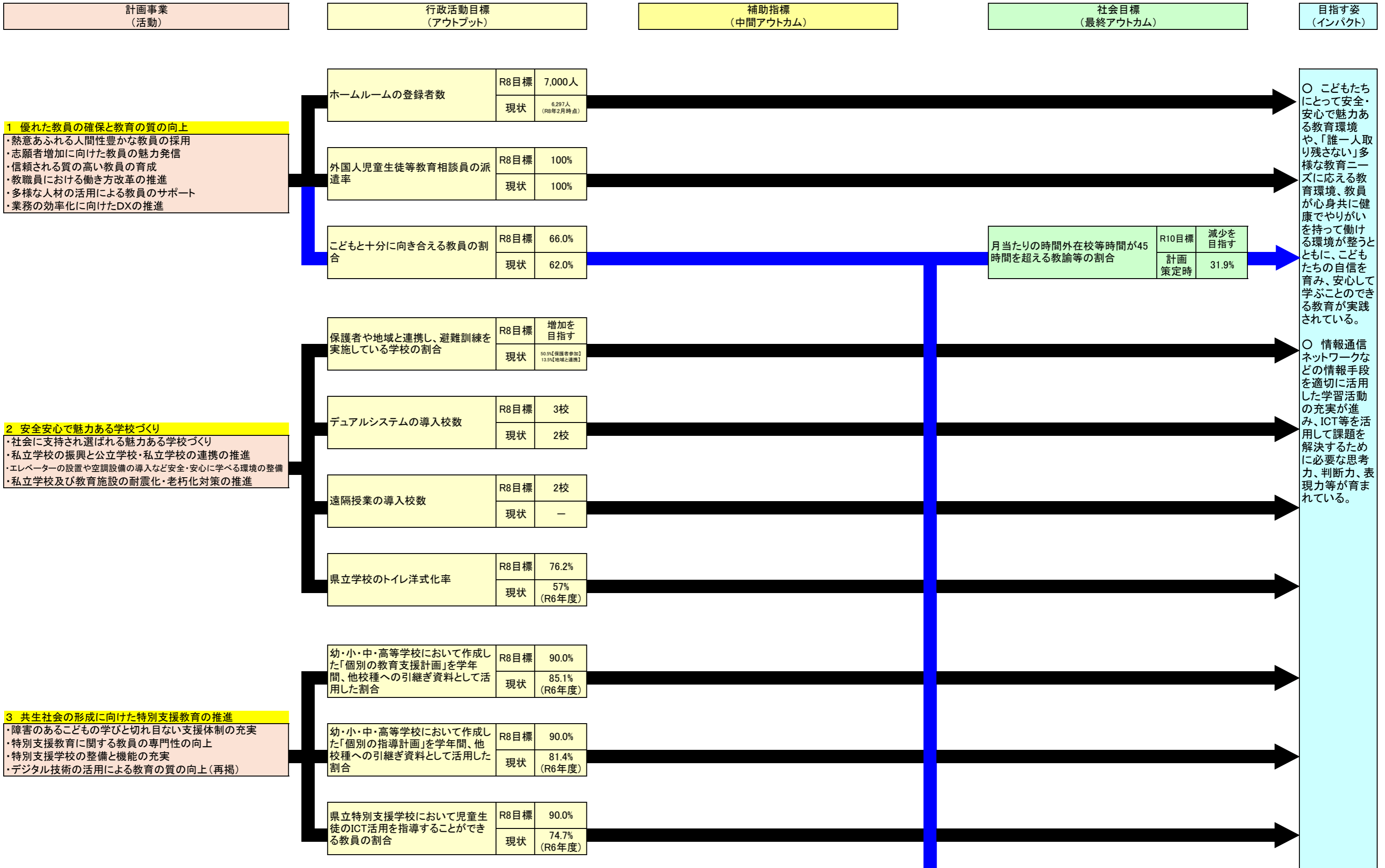
「子育て応援! チーパス事業」協賛店舗数	R8目標	増加を目指す
	現状	8,145店



【ロジックモデル】
 施策項目Ⅳ-1-③ 若者の仲間づくりの促進やライフイベントに応じた支援



【ロジックモデル】
 施策項目Ⅳ-2-① こどもたちの自信を育む教育の土台づくり



4 多様なニーズに対応した教育の推進

- ・不登校児童生徒の状況に応じた支援の推進
- ・安心して学べる環境を実現するいじめ対策の推進
- ・学び直しなどの再チャレンジの機会の充実
- ・経済的・家庭的理由など様々な困難への支援
- ・外国人児童生徒等の受入体制の整備
- ・相互の多様性を認め合う学校風土の醸成

千葉県奨学資金貸付人数	R8目標	適切に実施する
	現状	666人 (R8年2月時点)

スクールカウンセラー年間配置時間総数	R8目標	増加を目指す
	現状	162,450時間

スクールソーシャルワーカー年間配置時間総数	R8目標	増加を目指す
	現状	37,953時間

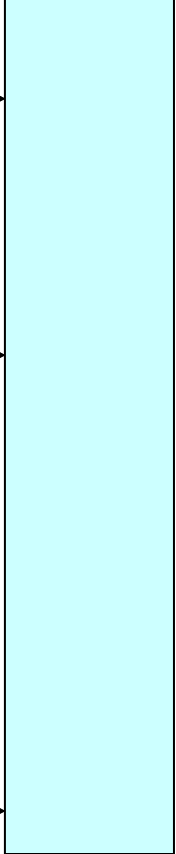
5 教育DXの推進

- ・デジタル技術の活用による教育の質の向上
- ・デジタル人材の育成
- ・教員のデジタル技術活用による指導力向上
- ・業務改善DXアドバイザーの活用
- ・業務の効率化に向けたDXの推進(再掲)

児童生徒の欠席等に係る家庭からの連絡を、電話ではなくWEBで受け付けている学校の割合	R8目標	100%
	現状	83.0%

児童生徒のICT活用を指導する能力	R8目標	85.0%
	現状	79.6% (R6年度)

いじめ認知件数に対する解消率	R10目標	増加を目指す
	計画策定時	78.9%



計画事業
(活動)

行政活動目標
(アウトプット)

補助指標
(中間アウトカム)

社会目標
(最終アウトカム)

目指す姿
(インパクト)

1 人生を主体的に切り拓くための学びの確立
 ・学習意欲を高め学力向上を図る取組の推進
 ・「読書県『ちば』」の推進
 ・コミュニケーション能力を伸ばす英語教育の充実
 ・デジタル技術の活用による教育の質の向上(再掲)

2 豊かな心の育成
 ・豊かな情操や道徳心を育む教育の推進
 ・児童生徒の自殺対策の推進
 ・体験活動等の推進
 ・こどもの権利の尊重

小学校専科非常勤講師等の配置校数	R8目標	200校
	現状	170校

全国学力・学習状況調査の結果を分析し、具体的な教育活動の改善に活用した学校の割合	R8目標	R7年度実績値以上
	現状	小学校95.5% 中学校94.0%

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況について肯定的回答をした学校の割合	R8目標	R7年度実績値以上
	現状	小学校85.1% 中学校85.3%

図書館ネットワークによる資料貸出冊数及び電子書籍サービスの閲覧数	R8目標	249千冊
	現状	128千冊 (R8年1月末時点)

優良・優秀学校図書館認定事業にて、優良図書館の認定校の割合	R8目標	増加を目指す
	現状	小学校99.4% 中学校93.5% 高校67.8%

中学校卒業段階で英語力がCEFRのA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上の生徒の割合	R8目標	中学校60% 高校60%
	現状	中学校55.9% 高校50.1% (R6年度)

スクールカウンセラー年間配置時間総数	R8目標	増加を目指す
	現状	162,450時間

スクールソーシャルワーカー年間配置時間総数	R8目標	増加を目指す
	現状	37,953時間

道徳教育推進教師研修会を受講したことで、理解が深まったと回答した教員の割合(小中は隔年で調査)	R8目標	中学校80% 高校90%以上
	現状	小学校99.7% 高校96.2%

里山での森林環境教育の活動団体数	R8目標	333団体
	現状	253団体

授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ児童生徒の割合	R10目標	全国平均以上を目指す
	計画策定時	小学校81.7% 中学校80.3%

自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	R10目標	全国平均以上を目指す
	計画策定時	小学校83.7% 中学校83.2%

○ 夢や目標を持ち、自らの生き方を考え、何事にも前向きにチャレンジし、地域や世界で活躍できる能力を備えた、千葉の未来を担う子どもたちが育成されている。

3 生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進

- ・運動・スポーツに親しむ資質・能力の向上
- ・健康・体力づくりのための外部人材の活用
- ・健康を守る学校保健の充実
- ・学校給食や食育など食を通じた健康づくり

いきいきちばっ子コンテスト「遊・友スポーツチャレンジちば」の参加校数	R8目標	200校
	現状	149校

小学校における新体カテストの平均点	R10目標	49.5点
	計画策定時	47.1点

4 人格形成の基礎を培う幼児教育の充実

- ・教職員や保育士の専門性の向上をはじめとした幼児教育・保育の質の向上
- ・豊かな自然環境を生かした「ちば・うみやま保育」の推進(再掲)
- ・幼児教育と小学校教育の接続の円滑化
- ・保育士等の資質の向上

域内の幼稚園・保育所と諸学校の間で、接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている市町村数	R8目標	増加を目指す
	現状	20市町村(R6年度)

幼児教育アドバイザー派遣実績の割合	R8目標	100%
	現状	100%(R6年度)

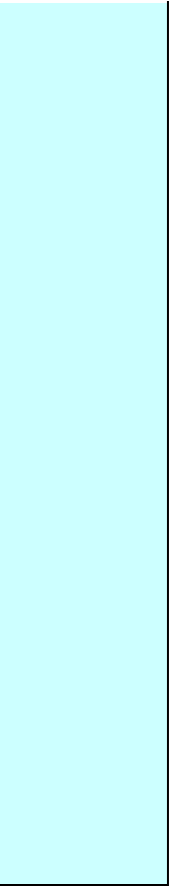
5 郷土と国を愛する心と、グローバル化への対応能力の育成

- ・郷土と国の歴史や伝統文化等について学ぶ教育の推進
- ・多様な文化を認め合う国際社会の担い手の育成

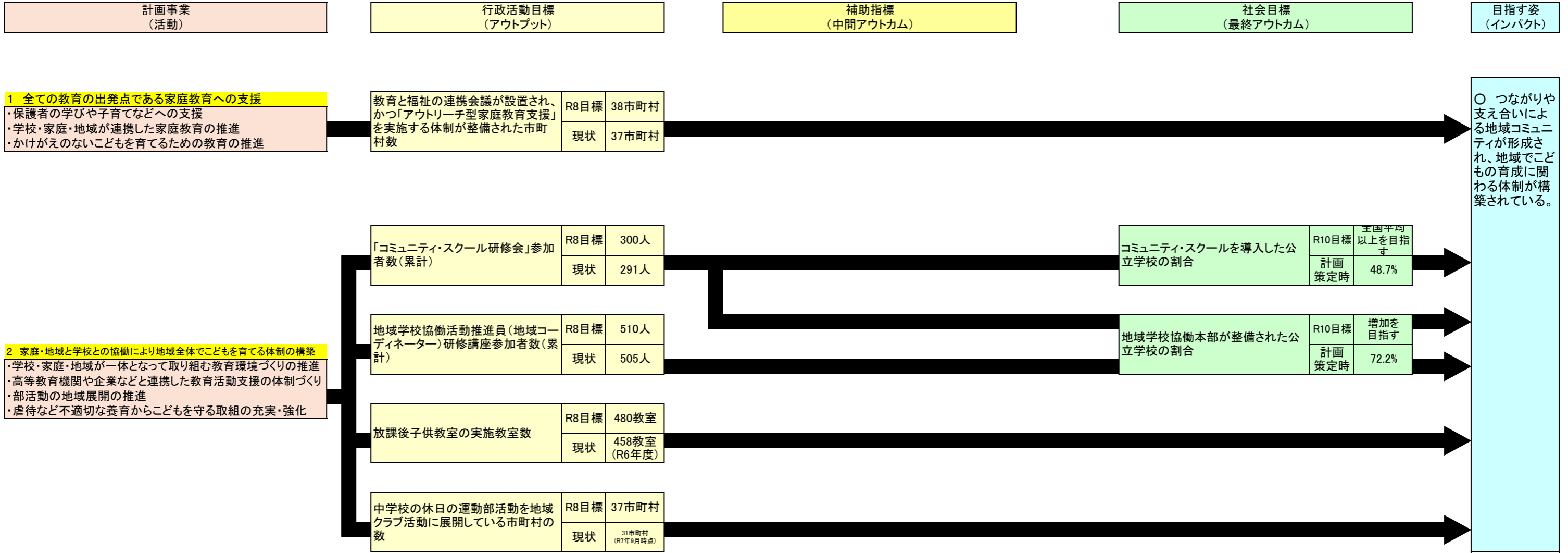
国際教育交流推進事業(グローバル体験、台湾派遣、留学フェア)の事業内容等に関する広報の回数	R8目標	R7年度実績値以上
	現状	11回

海外留学(期間を問わない)をした生徒数	R8目標	330人
	現状	290人(R8年2月末時点)

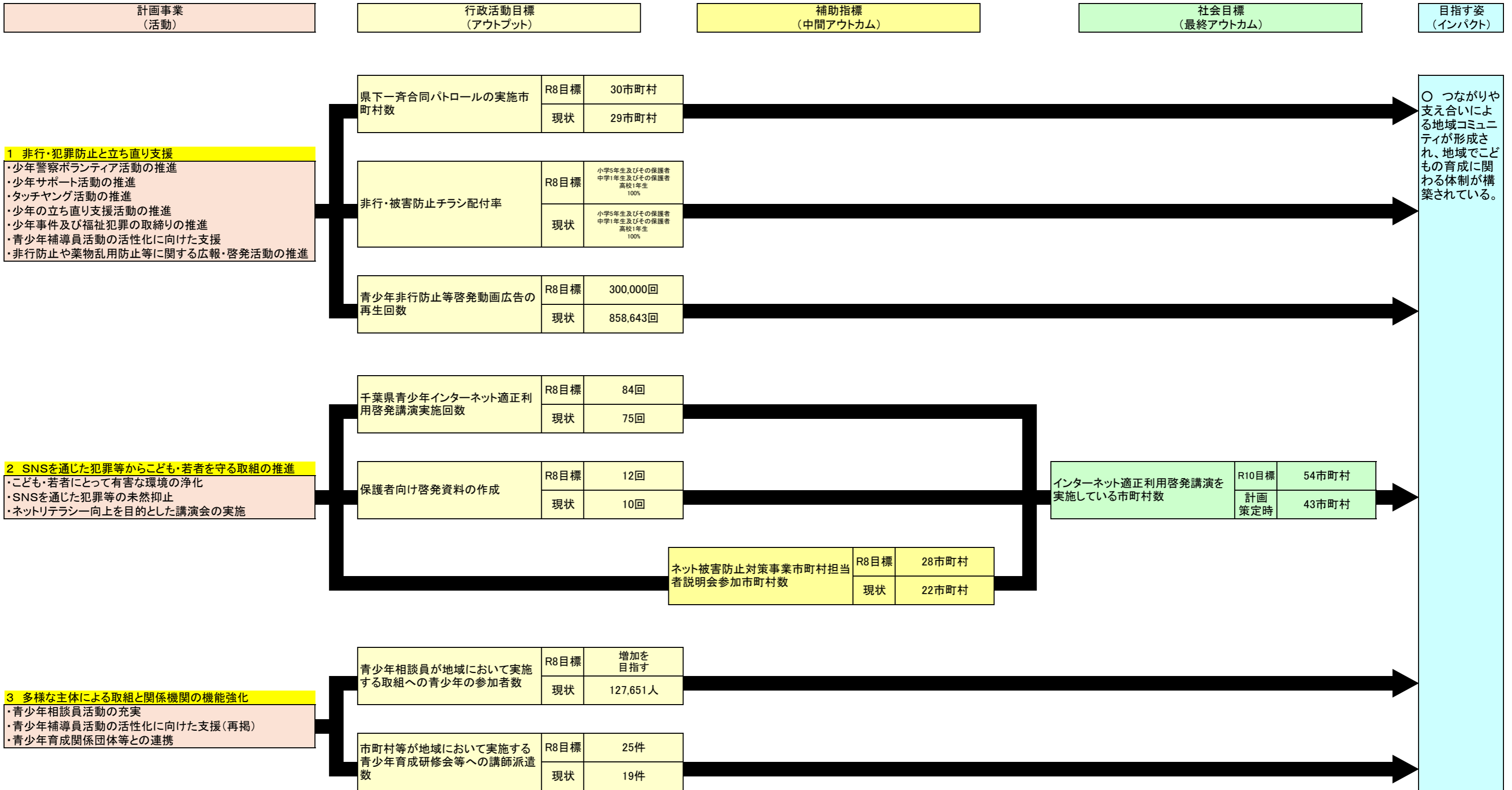
出土文化財を活用した出前授業による学習効果に係るアンケートの評価	R8目標	3.5以上の維持を目指す
	現状	3.92/4段階評価



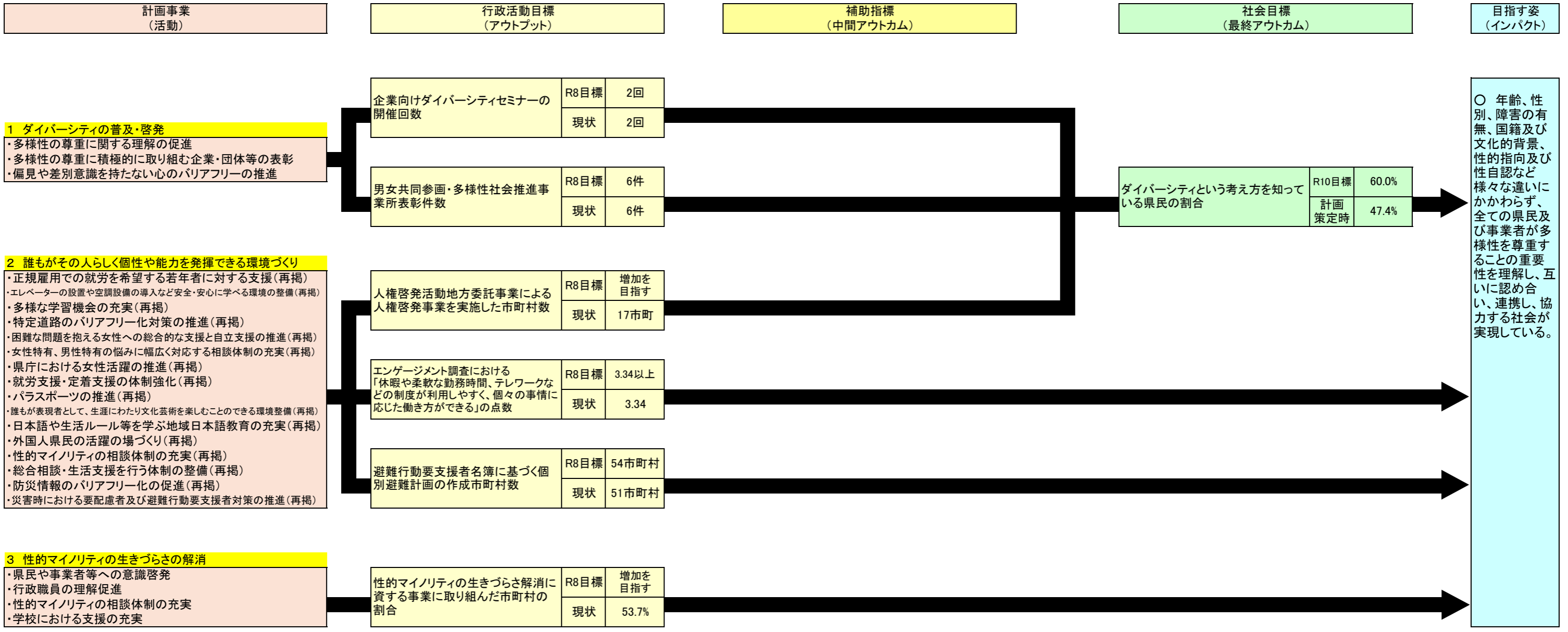
【ロジックモデル】
 施策項目Ⅳ-2-③ 地域全体で子どもを育てる体制づくり



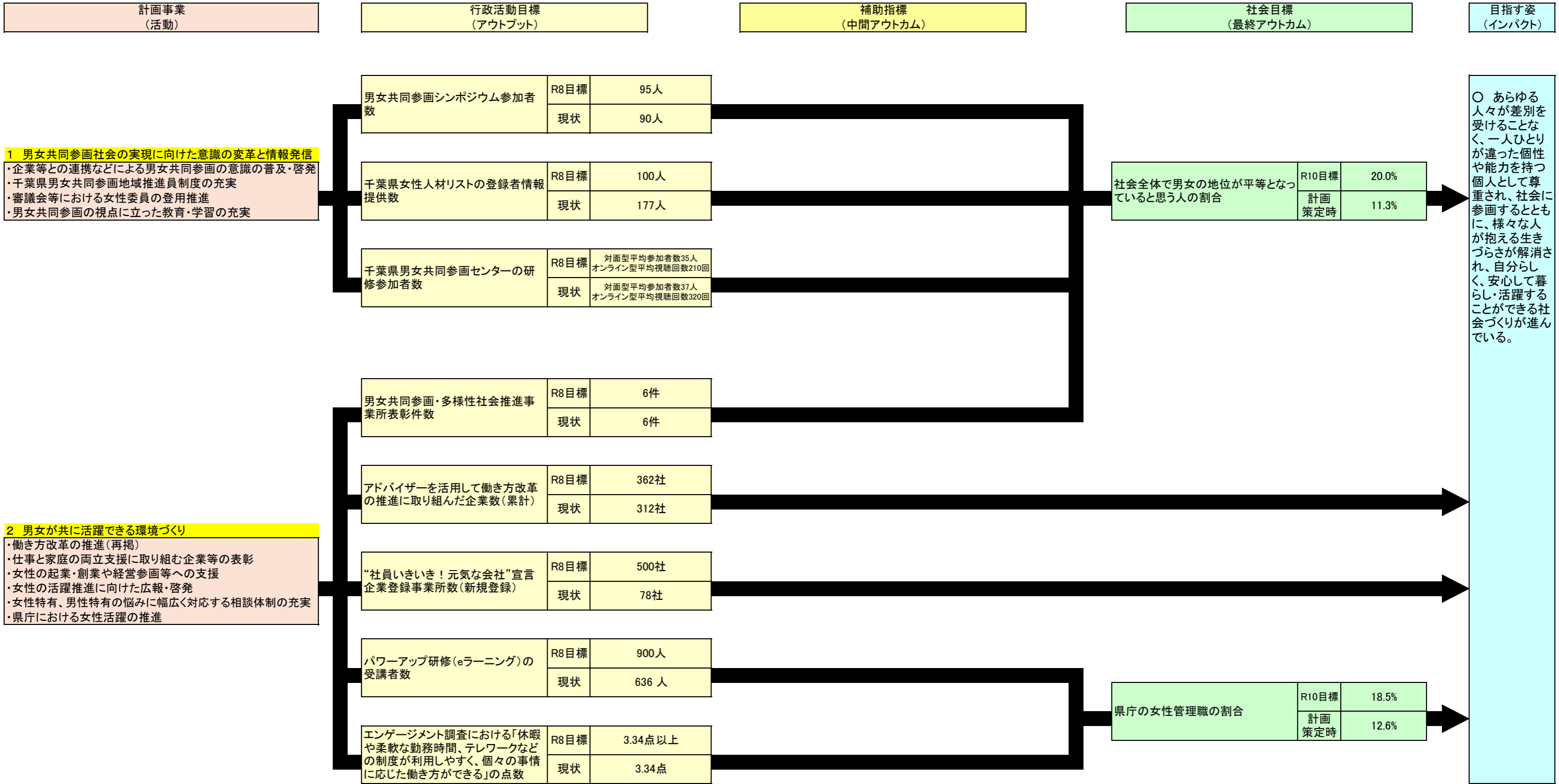
【ロジックモデル】
 施策項目Ⅳ-2-④ 青少年の健全育成



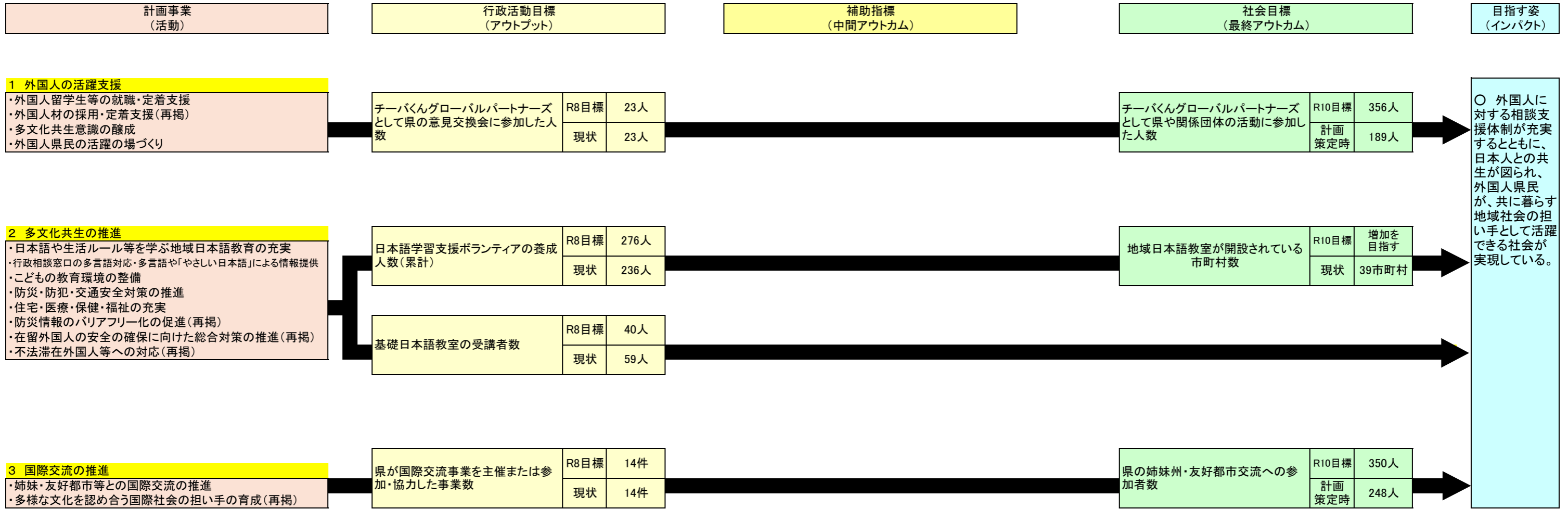
【ロジックモデル】
 施策項目 V-1-① 誰もが力を発揮できる社会の実現



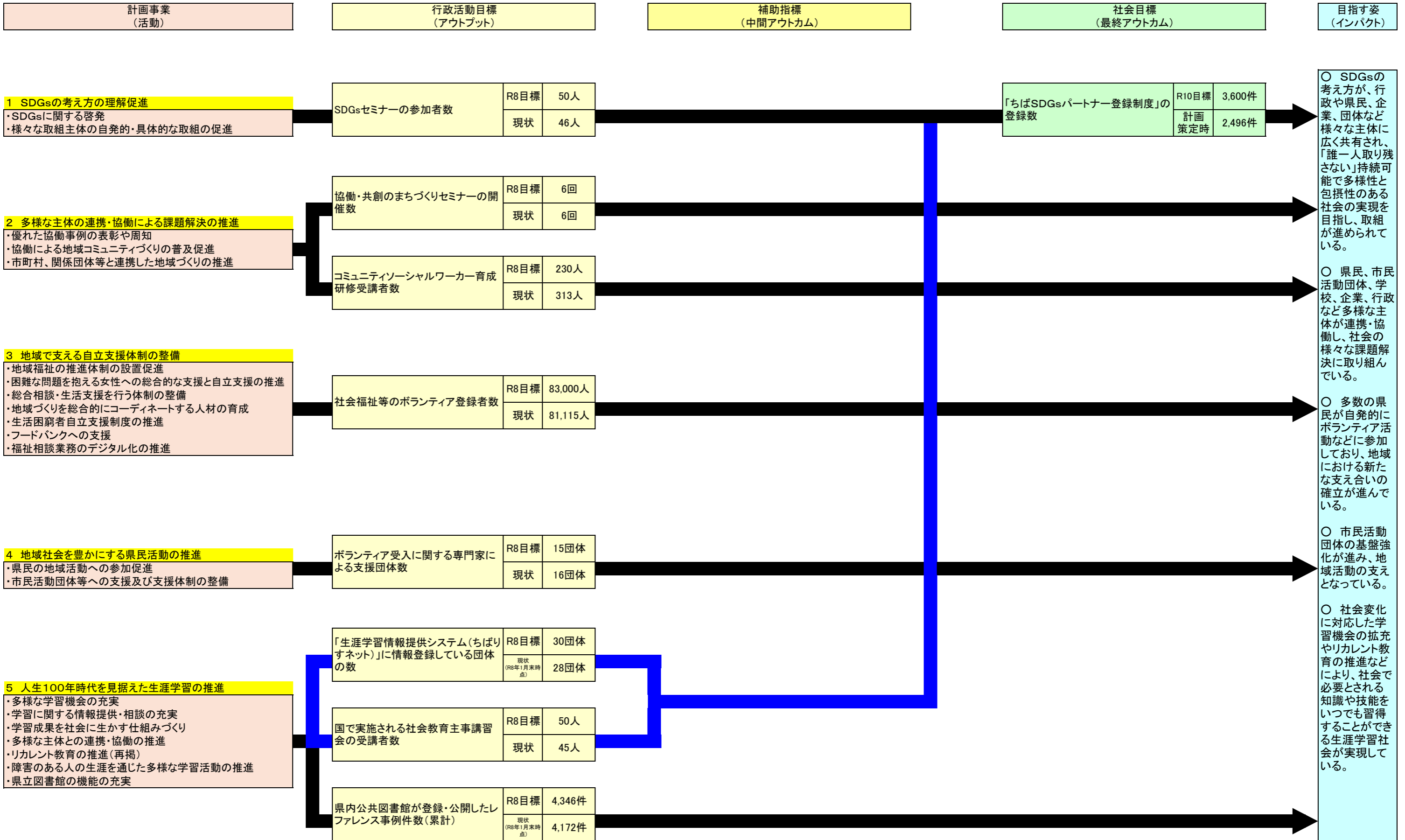
【ロジックモデル】
 施策項目 V-1-② 男女共同参画の推進



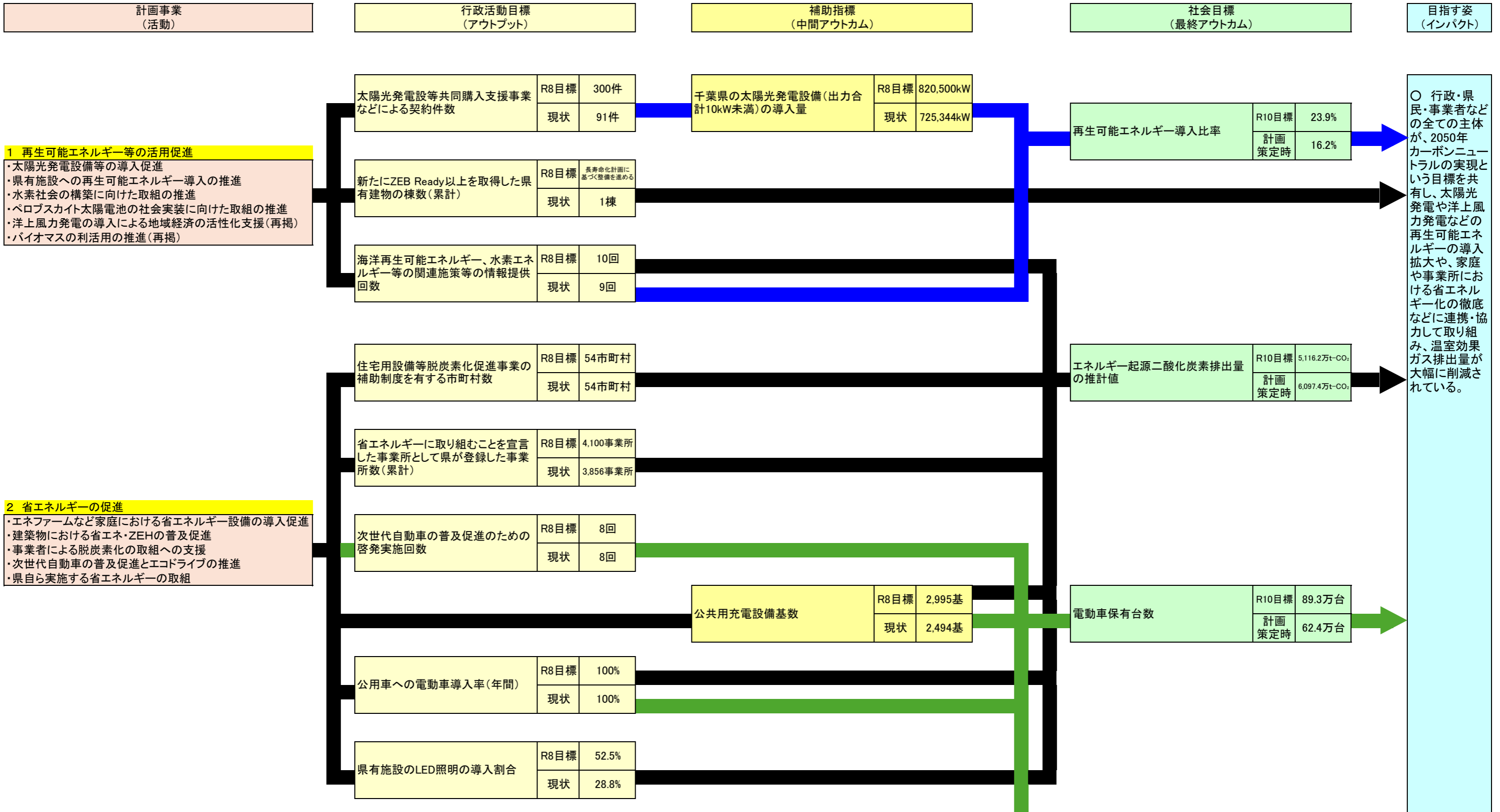
【ロジックモデル】
 施策項目 V-1-③ 外国人の活躍・共生と国際交流の推進



【ロジックモデル】
 施策項目 V-2-① 多様な主体の連携・協働による社会づくり



【ロジックモデル】
 施策項目VI-1-① 地球温暖化対策の推進



3 温暖化対策に資する地域環境の整備・改善

- ・グリーンインフラの整備推進
- ・海の吸収源対策の実施
- ・広域的な幹線道路ネットワーク等の整備促進(再掲)
- ・国道及び県道のバイパス・現道拡幅の整備推進(再掲)
- ・まちづくりを支援する道路の整備推進(再掲)
- ・自転車通行環境の整備推進(再掲)
- ・道路施設の維持管理と長寿命化(再掲)
- ・上下水道・工業用水道施設における温室効果ガス削減の取組推進
- ・企業間連携によるカーボンニュートラルコンビナートの推進(再掲)
- ・カーボンニュートラルレポート形成の推進(再掲)
- ・森林の保全と整備の推進
- ・都市における緑の保全と緑化の推進(再掲)
- ・信号機の集中制御・系統化等による交通流の円滑化等

間伐面積	R8目標	236ha/年
	現状	222ha/年

流域下水道施設の屋外照明をLED化した数(累計)	R8目標	506灯
	現状	468灯

都市計画区域内人口一人当たりの都市公園面積	R8目標	増加を目指す
	現状	7.22㎡/人

次世代自動車の普及促進のための啓発実施回数	R8目標	8回
	現状	8回

公共用充電設備基数	R8目標	2,995基
	現状	2,494基

森林整備面積	R10目標	904ha
	計画策定時	854ha

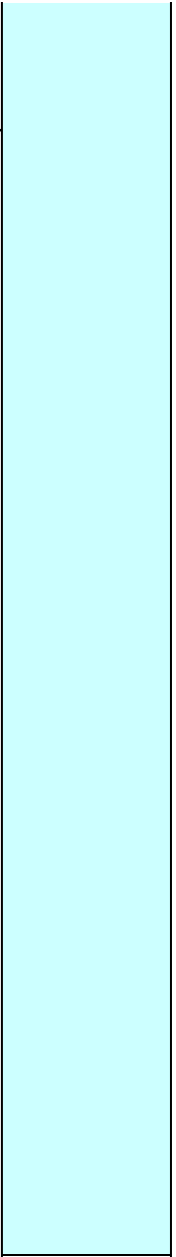
4 脱炭素型ライフスタイルへの転換

- ・県民や事業者等への再生可能エネルギーや省エネルギーに関する普及啓発の実施
- ・地球温暖化対策に関する学習の推進
- ・次世代自動車の普及促進とエコドライブの推進(再掲)
- ・テレワークやワーケーション等の多様な働き方の推進(再掲)

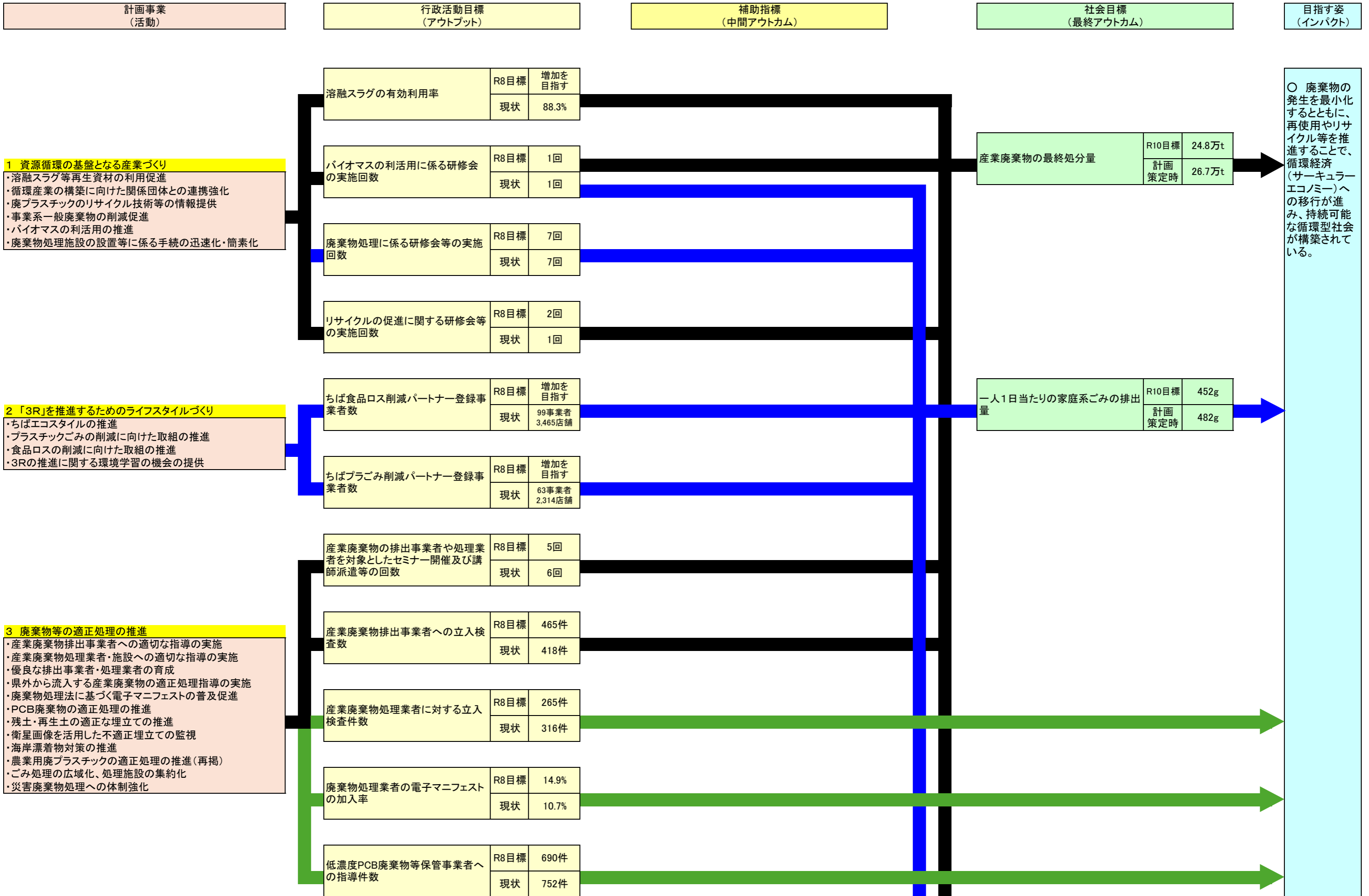
5 気候変動の影響に対する適応の推進

- ・千葉県気候変動適応センターによる気候変動影響及び適応に関する情報の収集・提供等
- ・河川・海岸整備の推進
- ・流域治水の推進(再掲)
- ・防災教育の推進(再掲)
- ・植物防疫対策の推進(再掲)
- ・夏の高温等の気候変動に適応する農業の推進(再掲)
- ・環境変動に適応する漁業の推進(再掲)
- ・都市における緑の保全と緑化の推進(再掲)
- ・熱中症対策の推進
- ・防災関係情報の提供(再掲)

クーリングシェルターの指定数	R8目標	増加を目指す
	現状	1,268施設



【ロジックモデル】
 施策項目VI-1-② 循環経済(サーキュラーエコノミー)への移行



4 不適正なヤードの一掃

- ・金属スクラップヤード等規制条例に基づく義務履行の指導・徹底
- ・有害使用済機器の適正処理指導の実施
- ・警察等関係機関と連携した自動車ヤードへの立入りの実施
- ・自動車ヤード条例に基づく義務履行の指導・徹底
- ・不法滞在外国人等への対応(再掲)

自動車ヤードの立入回数	R8目標	500回
	現状	538回

金属スクラップヤード等の立入回数	R8目標	280回
	現状	437回

5 産業廃棄物の不法投棄の根絶に向けた監視・取締りの強化

- ・監視体制の強化
- ・市町村等との連携による監視の強化
- ・法令等違反に対する指導・取締りの推進
- ・不適正処理箇所における被害の拡大防止
- ・大規模不法投棄箇所の定期的な環境調査

産業廃棄物不法投棄防止に係る監視活動の実施	R8目標	24時間365日の監視活動の実施
	現状	24時間365日の監視活動の実施

大規模不法投棄箇所の調査	R8目標	8か所
	現状	8か所

6 再資源化に向けた県の取組の推進

- ・建設廃棄物の再資源化や縮減の推進
- ・県営水道・工業用水道浄水発生土の再資源化の推進
- ・下水汚泥焼却灰の再資源化の推進
- ・下水処理水の有効利用の推進

建設廃棄物全体の再資源化・縮減率	R8目標	98%
	現状	98.3%

県営水道の浄水発生土の再資源化率	R8目標	100%
	現状	100%

工業用水道の浄水発生土の再資源化率	R8目標	100%
	現状	100%

下水汚泥の再資源化率	R8目標	73%
	現状	67%

7 環境学習等の推進

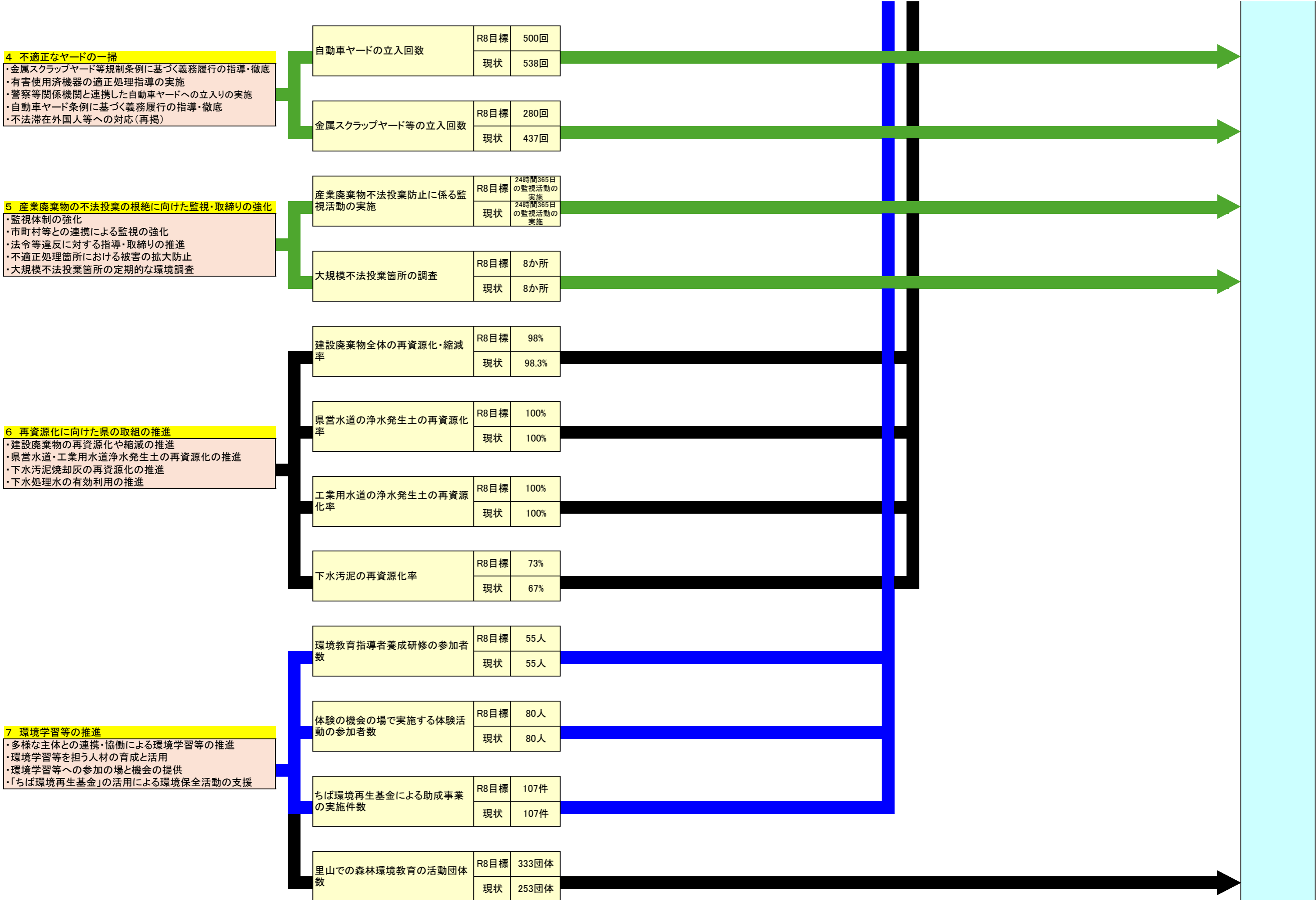
- ・多様な主体との連携・協働による環境学習等の推進
- ・環境学習等を担う人材の育成と活用
- ・環境学習等への参加の場と機会の提供
- ・「ちば環境再生基金」の活用による環境保全活動の支援

環境教育指導者養成研修の参加者数	R8目標	55人
	現状	55人

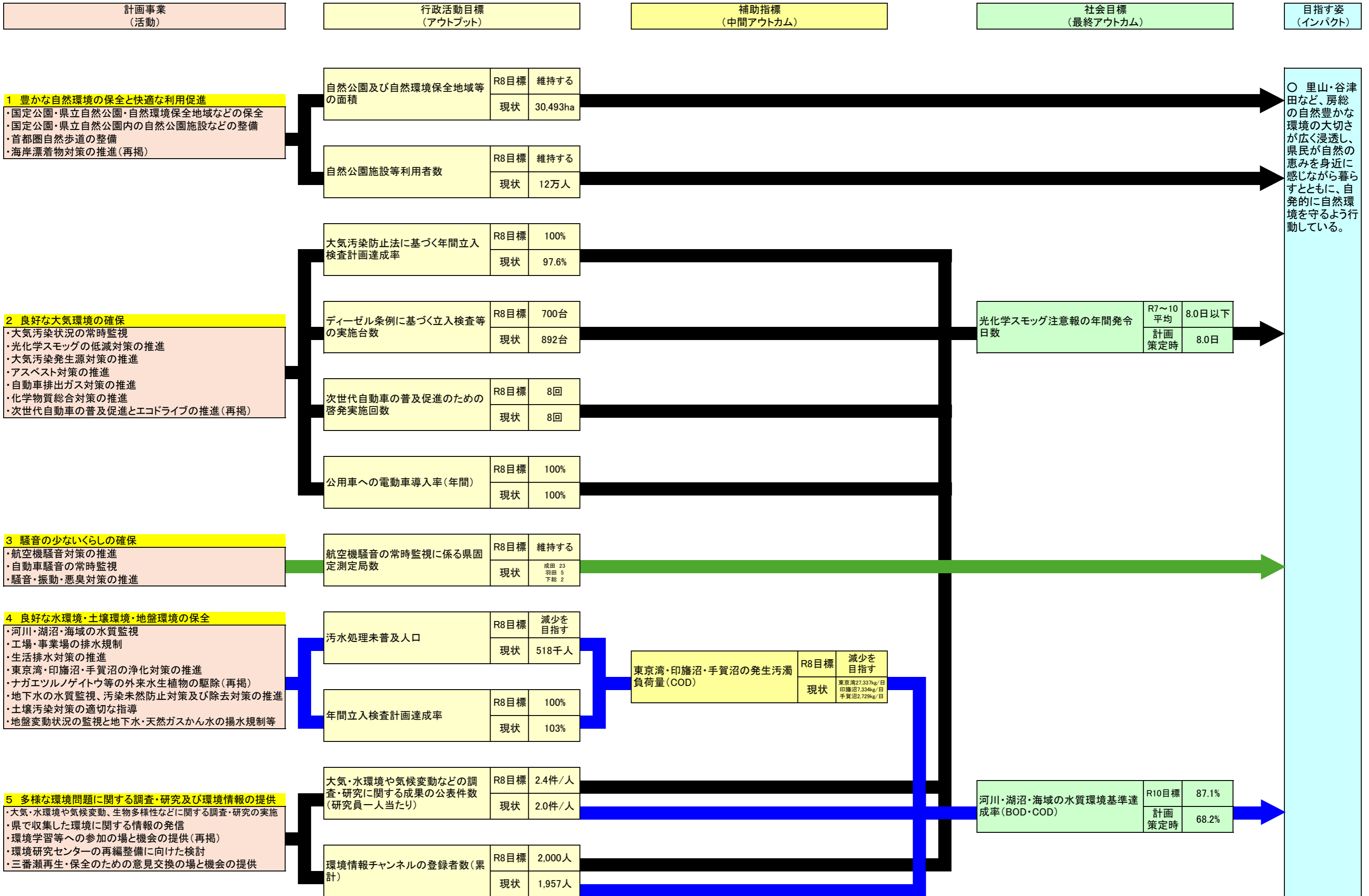
体験の機会の中で実施する体験活動の参加者数	R8目標	80人
	現状	80人

ちば環境再生基金による助成事業の実施件数	R8目標	107件
	現状	107件

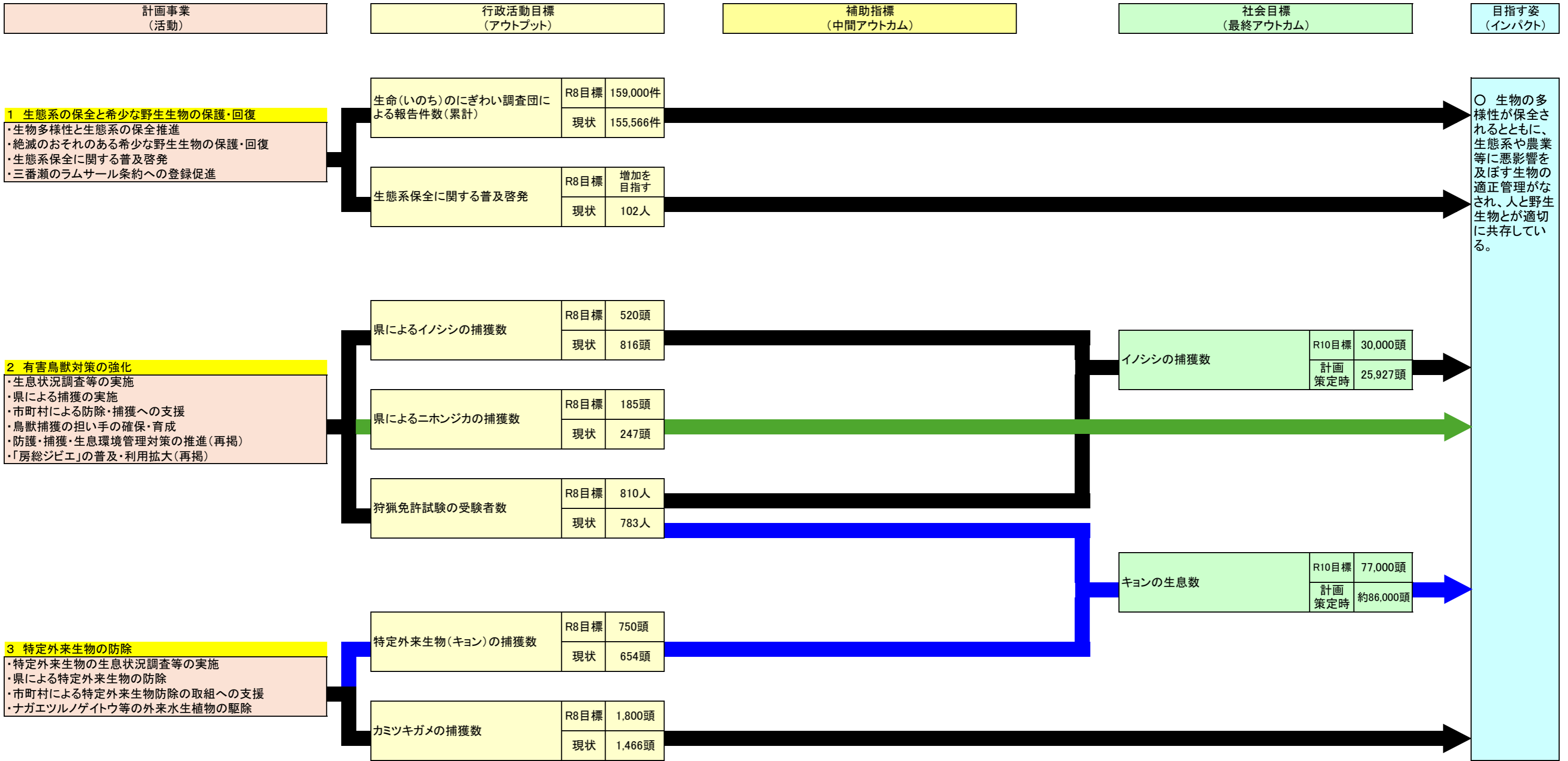
里山での森林環境教育の活動団体数	R8目標	333団体
	現状	253団体



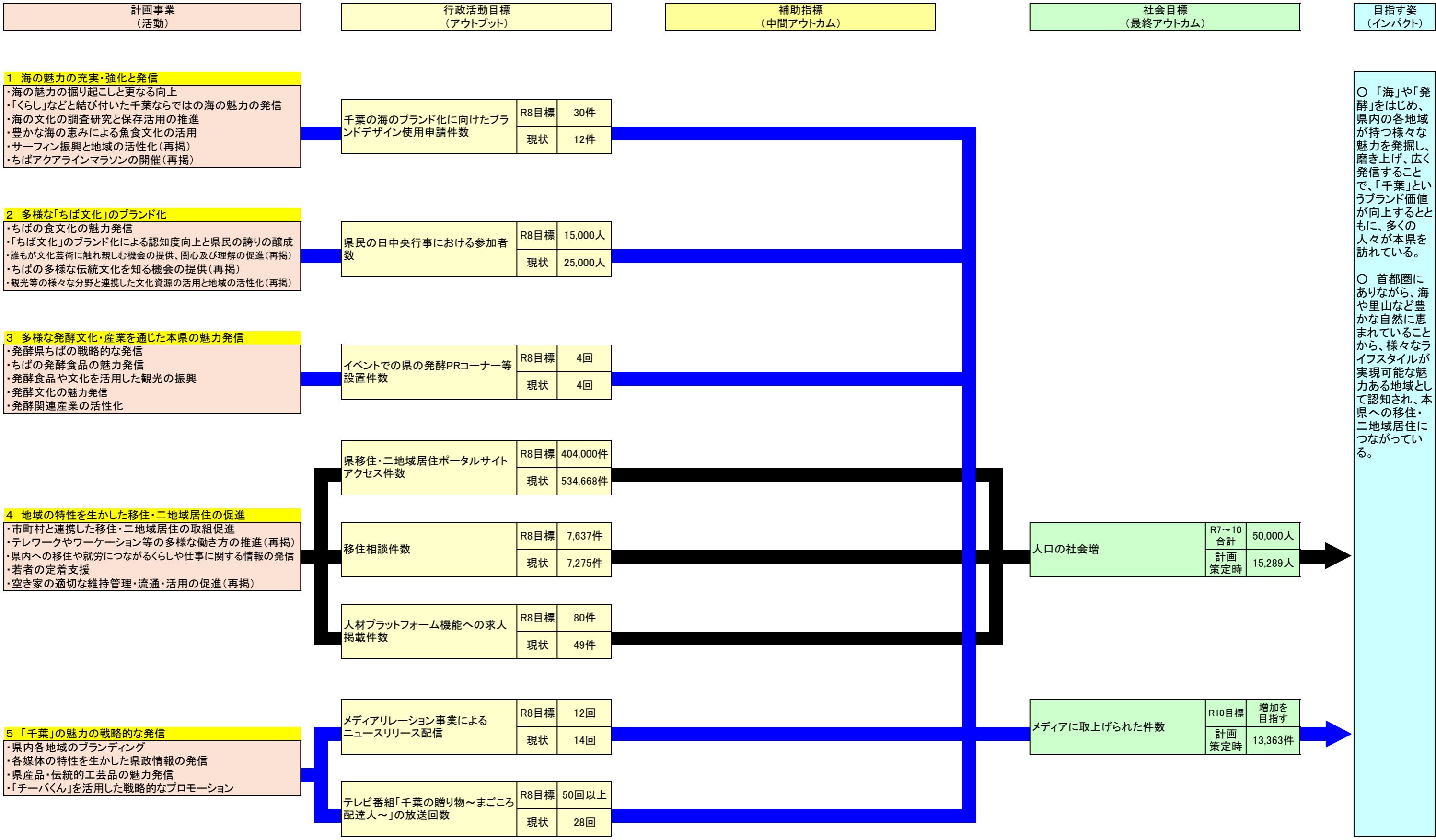
【ロジックモデル】
 施策項目VI-2-① 豊かな自然環境と大気・水環境の保全



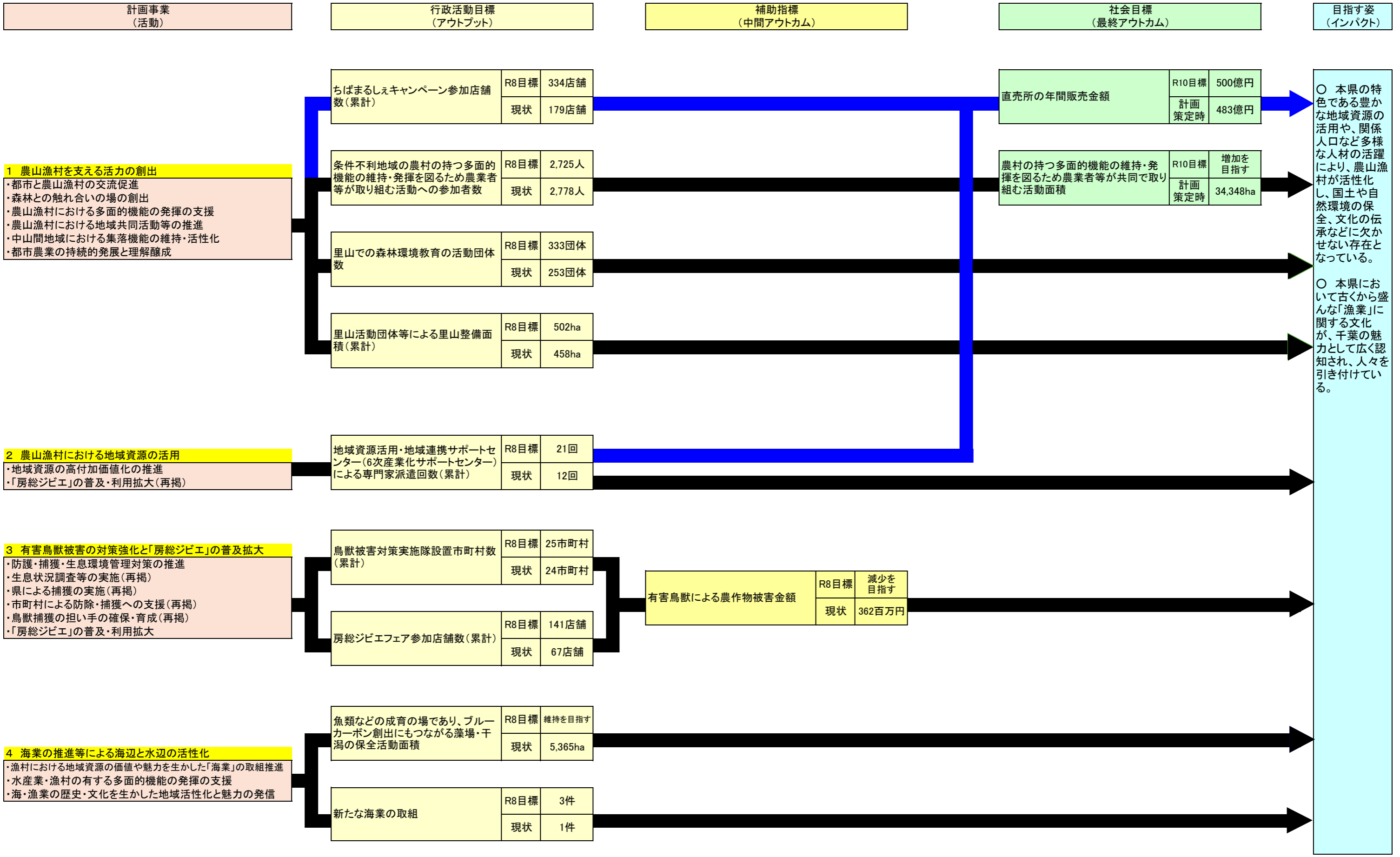
【ロジックモデル】
 施策項目 VI-2-② 野生生物の保護と適正管理



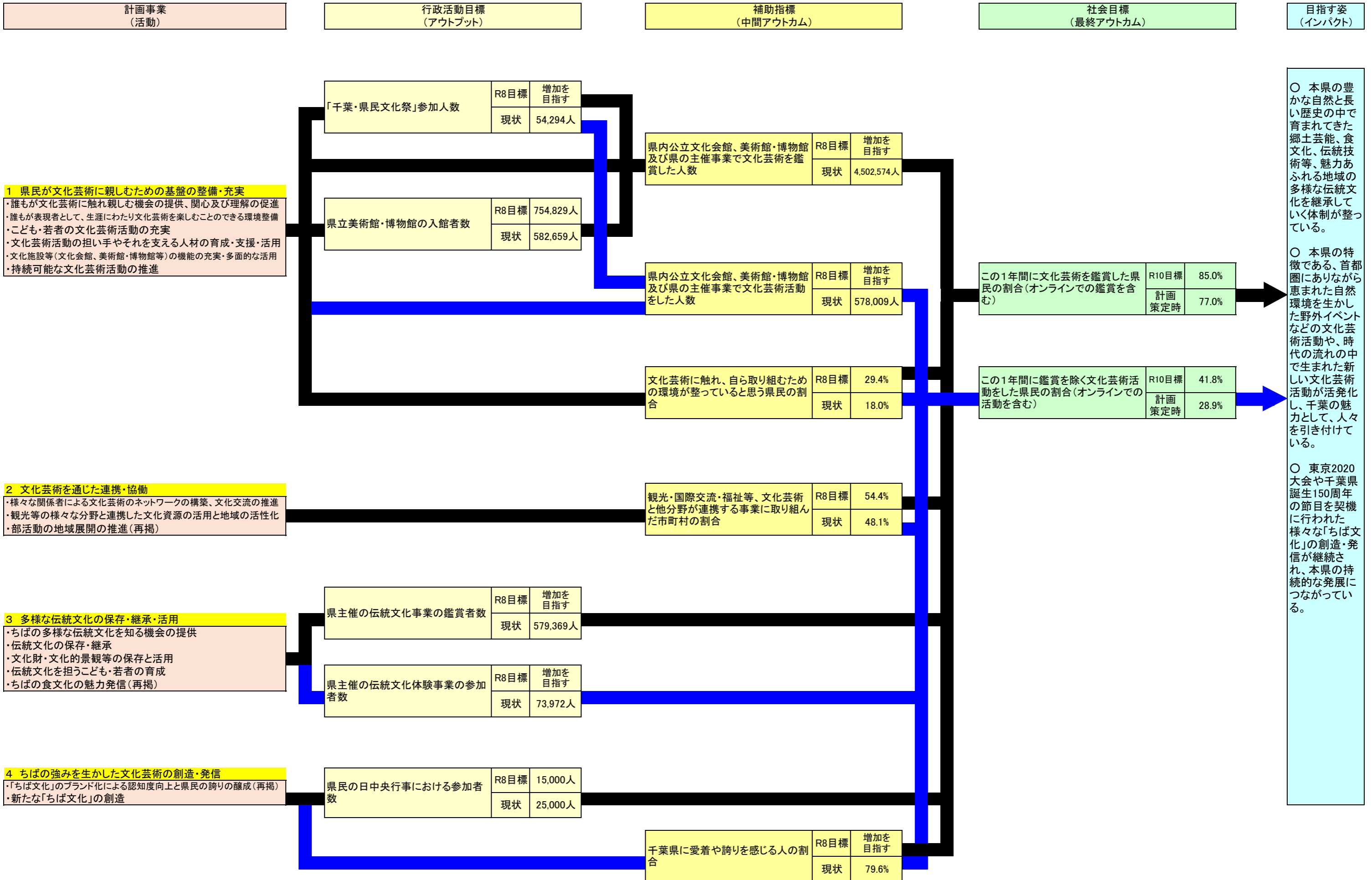
【ロジックモデル】
 施策項目 VI-3-① 半島性を活用した「千葉」のブランディングと移住・二地域居住の促進



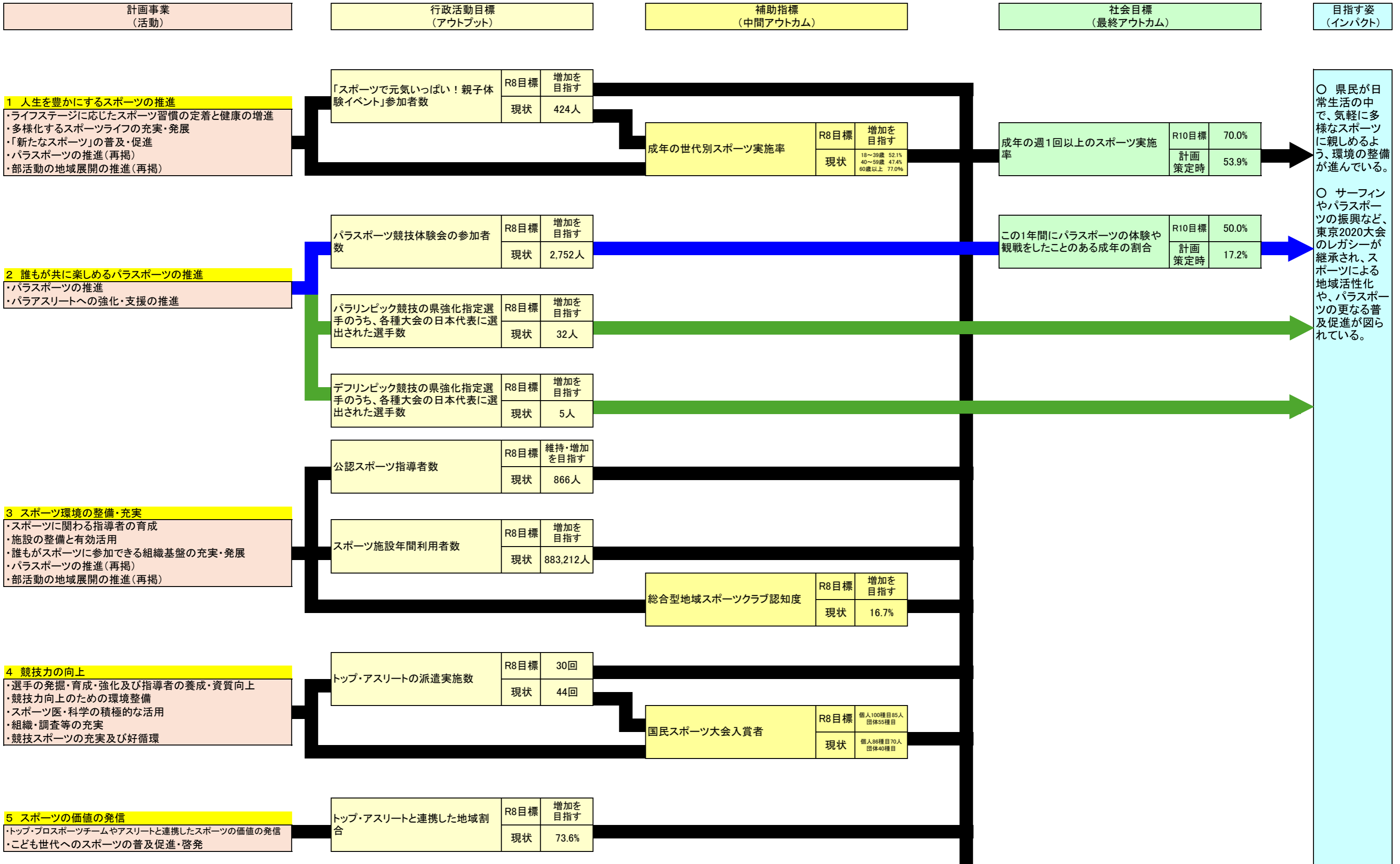
【ロジックモデル】
 施策項目VI-3-② 地域の特色を生かした農山漁村の活性化



【ロジックモデル】
 施策項目VI-4-① 文化芸術の振興



【ロジックモデル】
 施策項目 VI-4-② スポーツの振興



6 スポーツによる地域づくりの推進

- ・ちばアクアラインマラソンの開催
- ・サイクルツーリズムの推進
- ・サーフィン振興と地域の活性化
- ・トップ・プロスポーツチームやアスリートと連携したスポーツによる地域づくり
- ・スポーツを通じた国際交流の推進

トップ・アスリートと連携した地域割合	R7目標	増加を目指す
	現状	66.0%

